

THE ASU COMMUNICATION JOURNAL 2026 Comm

学校法人 愛知産業大学 広報誌[コミュ]

愛知産業大学大学院

愛知産業大学

愛知産業大学短期大学

名古屋たちばな高等学校

愛知産業大学三河高等学校

ELICビジネス&公務員専門学校

三河歯科衛生専門学校

名古屋美容専門学校

島田幼稚園

ご挨拶

学校法人愛知産業大学は、大学、短期大学、専門学校3校、高等学校2校、幼稚園を擁する総合学園として、建学の精神である「広く社会に貢献できる人材の育成」のもと、教育活動を続けております。

本年4月には、約3,000名の新入生を迎えることができました。新たな学びへの期待を胸に入学された学生・生徒・園児の皆さんが、それぞれの学校生活を通じて知識や技術を身につけるとともに、「物事の本質を見極める力」「誠実さ」「思いやりの心」を育み、社会の中で自らの力を発揮できる人へと成長されることを願っています。

本誌「Commu」は、各設置校の教育活動や研究活動、地域との連携、学生・生徒たちの活躍などを紹介する広報誌です。本誌を通じて、本学園の日々の取り組みや成長の歩みを感じていただければ幸いです。

現在、私たちを取り巻く社会は大きな転換期を迎えています。AIをはじめとするデジタル技術の急速な進展は、産業や社会のあり方を大きく変えつつあり、教育に求められる役割もまた大きく変化しています。加えて、少子高齢化の進行や国際情勢の不安定化など、将来を取り巻く環境はこれまで以上に不確実性を増しています。

こうした時代の変化を見据え、本学園では愛知産業大学において情報学部を設置に取り組んでいます。AIや情報技術を活用しながら社会の課題解決に挑戦できる人材を育成することは、地域社会とともに歩む学園としての重要な使命であると考えています。これは単なる学部新設ではなく、本学園が次の時代に向けて新たな価値を創造していくための大きな挑戦でもあります。

また、高等学校においては、高等学校等就学支援制度の拡充により、私立高校が生徒一人ひとりの個性や希望に応じた多様な学びの場として果たす役割が、これまで以上に大きくなっています。専門学校においても、社会や産業界と直結した実践的な職業教育への期待が高まっています。幼稚園においては、子どもたちの人格形成の基礎を育む大切な時期を担う教育機関として、一人ひとりの成長に寄り添った教育を進めています。

本学園は第三次中期計画の4年目を迎えました。本年度もDX推進の取り組みを継続するとともに、「ASUビジョン2027」に掲げる「地域とともに歩み、ユニークで力強く成長・進化する学園を創造する」の実現に向け、大学、短期大学、高等学校、専門学校、幼稚園それぞれの特色を生かしながら、社会の変化に応える教育の充実に努めてまいります。

変化の激しい時代だからこそ、人と人とのつながりを大切にしながら、地域社会とともに未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

今後とも、本学園の教育活動に対しまして、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人愛知産業大学 理事長

小林 英三

CONTENTS

【大学・短期大学】

05 愛知産業大学

13 愛知産業大学〈通信教育部〉

17 愛知産業大学短期大学〈通信教育部〉

【高等学校】

25 名古屋たちばな高等学校〈全日制課程〉

29 名古屋たちばな高等学校〈通信制課程〉

31 愛知産業大学三河高等学校〈全日制課程〉

35 愛知産業大学三河高等学校〈通信制課程〉

【専門学校】

39 ELICビジネス&公務員専門学校

43 三河歯科衛生専門学校

47 名古屋美容専門学校

【幼稚園】

51 鳥田幼稚園

53 財務の概要

55 学校法人 愛知産業大学 役員・

評議員・会計監査人名簿

56 学園奨学金のご案内

※本誌に掲載されている学生数・生徒数・園児数は、学校基本調査に基づきます。



2027年新学部設置。キャンパスも装い新たに。[新学部 設置認可申請中]

愛知産業大学

大学院 造形学研究科
造形学部 建築学科／スマートデザイン学科
経営学部 総合経営学科

平成4年4月開学
学長 西村 雅史
大学院造形学研究科長 宇野 勇治
造形学部長 宇野 勇治
経営学部長 石橋 豊
事務局長 計屋 昭生
学生数 大学院:82名、大学:662名
教職員数 教員:43名、非常勤講師:50名、職員:39名

[設置学部・学科・募集定員]
◎大学院造形学研究科 建築学専攻:10名、デザイン学専攻:10名
◎造形学部 建築学科:70名、スマートデザイン学科:70名
◎経営学部 総合経営学科:120名

[アクセス]
名鉄名古屋本線「藤川駅」よりスクールバス3分
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分

[所在地]
〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山12-5
TEL 0564-48-4511
<https://www.asu.ac.jp/>



ホームページ Facebook Instagram X LINE



建築を学びたい人のための通信教育

愛知産業大学 通信教育部

造形学部 建築学科

平成8年4月開設
学長 西村 雅史
通信教育部長 家田 諭
通信教育事務室長 竹下 大一
学生数 1,102名
教職員数 教員:7名、非常勤講師:62名、職員:2名

[設置学部・学科・募集定員]
◎造形学部 建築学科:100名(3年次編入学200名)
◎科目等履修生(1科目から受講可能)
◎特修生(本学入学資格取得)制度あり

[アクセス]
◎名鉄名古屋本線「藤川駅」よりスクールバス3分
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分
◎名古屋サテライト(「金山総合駅」南口より南へ徒歩1分)
◎東京スクーリング会場(JR山手線「田町駅」より徒歩10分)

[所在地]
◎岡崎校舎
〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山12-5
TEL 0564-48-8282
<https://www.asu.ac.jp/tsukyo>
◎名古屋サテライト
〒456-0002 愛知県名古屋市中熱田区金山町1丁目6-9
◎東京スクーリング会場
〒105-0014 東京都港区芝2-29-13キンレイビル4F・5F・6F



ホームページ



ここからつながる理想のジブン

愛知産業大学短期大学 通信教育部

国際コミュニケーション学科／専攻科

昭和61年4月開学
学長 西村 雅史
通信教育部長 三苫 民雄
事務室長 竹下 大一
学生数 441名
教職員数 教員:5名、非常勤講師:40名、職員:1名

[設置学部・学科・募集定員]
◎国際コミュニケーション学科:600名
◎専攻科:20名
◎科目等履修生(1科目から受講可能)
◎特修生(本学入学資格取得)制度あり

[アクセス]
◎名鉄名古屋本線「藤川駅」よりスクールバス3分
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分
◎名古屋サテライト(「金山総合駅」南口より南へ徒歩1分)
◎東京スクーリング会場(JR山手線「田町駅」より徒歩10分)

[所在地]
◎岡崎校舎
〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山12-5
TEL 0564-48-8282
<https://www.asu.ac.jp/tsukyo>
◎名古屋サテライト
〒456-0002 愛知県名古屋市中熱田区金山町1丁目6-9
◎東京スクーリング会場
〒105-0014 東京都港区芝2-29-13キンレイビル4F・5F・6F



ホームページ

START! ASU Re:DESIGN 2027

2学部3学科の新たな学び。2027年4月始動

情報を探求し、新しい未来を創る。

情報学部 知能情報学科

- 知能情報システム
- 知能ロボット&プロダクト設計
- メディア知能情報処理

情報を活用し、わくわくする未来を描く。

情報学部 総合情報学科

- ビジネスDX
- ものづくりDX
- デジタルゲーム
- スポーツ・健康

次世代の建築人として、未来をデザインする。

造形学部 建築学科

- 建築・都市デザイン
- インテリア・エクステリアデザイン
- 建築イノベーション(DX・グリーン・生産)
- 木造・ものづくりデザイン

※設置認可申請中(設置計画は予定であり、内容に変更があります)

ASU Re:Design 2027

学びを、未来を、再設計する

人工知能(AI)をはじめとするデジタル技術の急速な進歩により、私たちの社会や仕事のあり方は大きく変わろうとしています。事務だけでなく、医療、法律、ものづくり、教育など、これまで高い専門性が求められてきた分野においても、AIの活用は急速に広がっています。これからの時代に必要とされるのは、単に多くの知識を身につけることだけではありません。AIを正しく理解し、活用しながら、自ら課題を発見し、新しい価値を生み出していく力です。

このような時代を見据え、愛知産業大学では「ASU Re:Design 2027」を掲げ、教育・研究内容をAI時代にふさわしいものへと再設計しています。これまで本学が培ってきた建築、造形、経営などの教育を基

盤としながら、AIの存在を前提とした新しい社会の中でも真に活躍できる人材を育成するため、情報学部(知能情報学科、総合情報学科)の2027年4月開設を目指し、準備を進めています。

新しい愛知産業大学が大切にするのは、基礎をしっかりと学ぶこと、そして学んだ知識を現実の課題に結びつける実践力です。地元三河のものづくり産業をはじめ、地域社会の変化に寄り添いながら、新しい時代に必要とされる学びを提供してまいります。

愛知産業大学を三河地区の中核大学へ、そして地域の人々に愛され、頼りにされる大学へと発展させる強い決意を持って、これからの学びと未来を再設計してまいります。

知能情報学科

デジタルAIからフィジカルAIまで

AI(人工知能)と聞いて、どのようなものを想像するでしょう?スマートフォンの翻訳アプリや検索エンジン、あるいは文章や画像を自動生成するAIなど、「デジタルの世界で動くもの」を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、これからの社会で真に求められているのはそれだけではありません。人の声を聞き取り、周囲の映像を瞬時に理解し、ロボットを動かして、工場や建設、医療・福祉の最前線で人を直接的に支える——すなわち「現実世界で役に立つAI」なのです。このようなAIは「フィジカルAI(Physical AI)」と呼ばれています。本学科ではこの次世代AIの構築に必要な知識と技術を実践的に学ぶことができます。



実践的プロトタイピングとデザイン思考

本学科では、プログラミングや人工知能の基礎理論を学ぶにとどまらず、音、映像、文字、ロボット、そしてものづくり技術を融合させ、「実際に動いて使えるAI」を構築するプロセスまでを徹底的に学びます。プログラミング技術の習得やAIの仕組みの理解にとどまらず、「アイデアを形にする」実践的なプロトタイピングに力を入れています。センサーをつないでリアルなデータを取得・分析し、ロボットなどのハードウェアを駆動させ、現場の課題を解決するシステムとして完成させます。さらに、デザイン思考を取り入れた課題解決型の演習を繰り返すことで、「どうすれば本当に人の役に立つのか?」「実際の現場で機能するのか?」を、社会や地域産業の視点からとことん考え抜きます。

将来を見据えた3つのフィールド

デジタルを担うIT産業と、日本の強みであるものづくり産業を掛け合わせ、次世代の社会を牽引する人材を育成するため、カリキュラムとして将来を見据えた3つのフィールドを用意しています。

FIELD.1	FIELD.2	FIELD.3
知能情報システムフィールド センサーやネットワークから日々生み出される膨大なデータを対象に、最新のAI技術を活用して情報システムを構築するための知識と技術を学びます。	知能ロボット&プロダクト設計フィールド 人とロボットが共生する未来の暮らしを見据え、実際の生活空間で使われるプロダクトをデザインし、試作・検証する力を養います。居住空間を模した新設の未来ラボ「RoboCampus(ロボキャンパス)」において、複数のロボットを導入した最先端の研究が可能です。	メディア知能情報処理フィールド 音声、音楽、画像、映像、言語、さらには現実世界と仮想世界を融合させるXR(Cross Reality)技術など、多様なデジタルメディアを深く理解し、自ら加工・創造する力を育みます。

社会の課題解決に挑む人材育成

学科の新設にあたり、全国からトップクラスの教員陣を招聘し、最高水準の教育を提供する準備が整っています。私たちが目指すのは、用意されたAIを単に「使う」だけでなく、自らの手でAIを「創り出し」、社会や地域が抱えるリアルな課題を発見・解決できる人材の育成です。基礎から丁寧に積み上げるカリキュラムを整えているため、

理系の学生はもちろんのこと、「AIを活用して社会を変えたい」という意欲があれば、文理を問わず歓迎いたします。これからの社会を形作るのは、一人ひとりのチャレンジ精神です。本学科では、現実の社会で本当に役立つAI技術の実践的な学びを通して、多様な現場で活躍できる人材を育成してまいります。

総合情報学科

「文理融合」の学びで変化に対応

総合情報学科は、「ASU Re:Design 2027」の一翼を担う学科として、ITやデータ分析を活用し、新たなビジネスやサービスを創出できる人材の育成を目指します。文系・理系の枠を越えた「文理融合」の学びを特色とし、柔軟な発想と行動力を備えた創造的な人材を育てます。

現代社会では、技術革新や社会構造の変化が加速し、課題も複雑化しています。そのため、特定の専門分野だけでは解決が難しい状況も増えています。こうした時代に対応するため、本学科では、文系・理系という枠組みにとらわれず、多様な分野の知識を組み合わせた教育を展開します。



新設されるe-Sports Hub(イメージ)



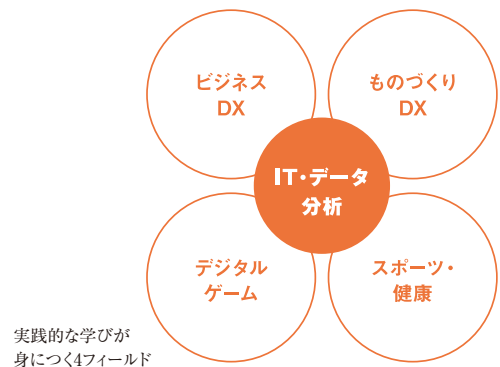
メタバースによる歩行支援システム

データ分析を基盤とした課題解決力の育成

本学科では、データ分析技術を基盤としながら、その知識や技術を産業活動や組織運営に適切に導入・活用できる能力の修得を目指します。具体的には、企業経営や事業・市場創出、さらにデジタルコンテンツ、スポーツアナリティクス、健康管理などの領域において、基礎的かつ実践的な知識・技能を身につけます。その上で、情報技術を活用した業務改革、生産管理、サービス設計、意思決定支援などについて学び、実社会の課題解決につなげる力を育成します。

実践的な学びの4つのフィールド

学科のコア科目を通じて、情報に関する基礎的な能力を共通に修得した上で、次の4つのフィールドを設置し、特色ある専門科目を体系的に学ぶ教育課程を編成しています。分野横断的な視点を重視するとともに、実践的な学修内容に重点を置いた教育を展開します。



実践的な学びが身につく4フィールド

FIELD.1

ビジネスDXフィールド

企業経営や組織運営を主たる対象として、データに基づき社会や組織の問題を発見・分析する力を養います。さらに、企画・提案・実行へとつなげる実践的な学びを通じて、課題解決力を備えたビジネスパーソンを育成します。

FIELD.3

デジタルゲームフィールド

アバターなど、ゲームやアニメの要素をビジネスに活用する仕組みについて、愛知県内大学初の本格的なeスポーツ設備(e-Sports Hub)を活用しながら学びます。デジタルメディアやコンテンツを企業活動に生かすことのできる人材を育成します。

FIELD.2

ものづくりDXフィールド

生産システムについて基礎から体系的に学びます。実務経験豊富な教員による実践的な教育を通じて、生産管理や業務改善の手法を修得し、多様な企業で生産性向上や価値創出に貢献できる力を養います。

FIELD.4

スポーツ・健康フィールド

スポーツと健康を科学的な視点から分析し、社会に役立てる力を養います。選手やチームのパフォーマンス向上や戦術分析について学ぶとともに、コンディショニング管理や企業における健康経営などを支える能力を修得します。

通学・通信の両課程による柔軟な学び

大学への進学時には、必ずしも将来の目標や進路が明確になるとは限りません。本学科では、4つのフィールドに横断的に触れる中で、自分の興味や関心を広げ、「やりたいことや、なりたい自分に出会える場」を提供します。学生にとって、「好き」を「学び」へ、さらに将来のキャリアへとつなげることのできる学科です。

また、通学課程と同一の教育目的を共有する通信教育課程を設置し、同一カリキュラムに基づく教育を実施します。対面授業とメディアを活用した授業を組み合わせることで、きめ細かな教育を展開します。

学生募集やキャリア形成をはじめ、総合情報学科へのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

建築学科

開学以来33年の実績を糧に、さらなる展開を

造形学部 建築学科は、平成4(1992)年4月の開学とともに設置され、今日に至っています。開学以来30年以上にわたり一貫した教育を実施してきており、ものづくり教育や実践的なデザイン教育を強みとしてきました。今後、スマートデザイン学科の募集停止に伴い、造形学部の募集は建築学科のみとなります。建築学科通学課程と通信教育課程での教育をより充実、展開させたいと考えております。情報技術を活用できる建築技術者、ものづくりマインドをもったデザイナーの育成など、社会に求められる建築人材を輩出します。



建築をまなび、未来の風景をつくろう

建築を学ぶということは、単に建物を設計することではありません。人の暮らしを考え、地域を見つめ、社会の課題と向き合いながら、未来の風景をつくっていくことです。

今、建築を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や空き家問題、自然災害への備え、脱炭素社会への対応、そしてAIやBIMをはじめとしたデジタル技術の急速な進化。これからの建築には、「安全安心な建物をつくる力」に加え、人や地域、環境、技術をつなぎ、新しい価値を生み出す力が求められています。

これまで大切にしてきた「ものづくり」の精神をさらに深化させながら、BIMやAI、VRなどの先端技術を積極的に取り入れ、アナログとデジタルの両方を横断できる建築教育へと進化します。

4つのフィールドで広がる、新しい建築の学び

新しい建築学科では、「建築・都市デザイン」「インテリア・エクステリアデザイン」「建築イノベーション」「木造・ものづくりデザイン」という4つのフィールドで、一人ひとりが自分らしい専門性を見つけられます。

教室の中だけで完結する学びではなく、「社会とつながる実践教育」を重視しています。地域の空き家再生プロジェクトや産学連携、地域創造ワークショップなど、学生たちは実際の社会課題に向き合いながら学びます。図面を描くだけでなく、地域へ出向き、人と対話し、自ら考え、形にしていく。その経験の積み重ねが、建築を“自分ごと”として捉える力につながっていきます。

本学科の大きな特徴は、「伝統」と「革新」の両方を学べることです。木造建築や伝統技術を学ぶ授業では、実際にノミや玄能を使い、継手や仕口を制作します。そこには、長い年月をかけて受け継

がれてきた日本の建築文化があります。一方で、BIMやデジタルファブリケーションなど、建築業界の未来を担う技術も積極的に学びます。古いものを守るだけでも、新しいものを追いかけるだけでもない。その両方を理解し、融合できる人材を育てたいと考えています。



「好き」が、未来の建築につながる

建築は、とても自由な学問です。絵を描くことが好きな人。模型やDIYが好きな人。ゲームやCG、デジタル技術に興味がある人。まち歩きが好きな人。人を笑顔にする空間を考えたい人。その「好き」は、すべて建築につながっています。

建築家、現場を指揮する施工技術者、インテリアデザイナー、機械や電気のエンジニア、住宅を住み手に届ける営業担当など、自分の感性や個性を生かしながら、未来の社会をつくるプロセスに関わることができます。自分が考えたアイデアが、図面になり、模型になり、空間として立ち上がっていく。その感動は、建築だからこそ味わえるとても大きな魅力です。

大学活動の紹介

活動.01

第1回DXHシンポジウム2025を開催しました

2025年8月28日、地域におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進に寄与すべく、シンポジウム「DXハイスクールの深化に向けて ～事例報告と高大連携の推進～」を開催しました。本シンポジウムは、文部科学省が推進する「DXハイスクール」構想のもと、各高等学校における実践事例を共有するとともに、今後の高大連携のあり方を共に考える機会として企画されたものです。

高校と大学が連携しながら、次世代を担う生徒たちの創造性や課題解決力を育む教育環境をどう築いていくかそのヒントを見出す場となりました。



【参加者】

県内外高校40校、78名の教諭および文部科学省、経済産業省、岡崎市、商工会議所、企業から58名、他連携大学関係者など



活動.02

地域共創キックオフ交流会を開催しました

2026年5月15日、産学官連携・地域協働推進機構の設立記念として、第1回キックオフ交流会を学内にて盛大に開催しました。本機構は現場ニーズに基づく産学官連携活動の更なる充実や、実践的な地域協働を組織的かつ確実な体制で推進するために新設されました。当日は地域の自治体や各商工会議所、金融機関等の連携機関から40名、地元の民間企業から25名が参加し、総数65名もの大勢の来客が会場へと参加しました。全体での概要説明や各部会の紹介に続き、教員による最先端の研究シーズ発表や地域協働の活動報告が3件ずつ大変熱心に行われました。

その後のポスターセッションでは22件の多彩なテーマが展示され、参加者と教員の間で名刺交換や、具体的な共同プロジェクト創出に向

けた活発な意見交換が終始賑やかに交わされた。来場者アンケートからは、単なる情報収集に留まらず、研究の強力な推進や強固なネットワーク構築への高い期待が明確に示されました。特に脳型人工知能やインフラ健康診断、次世代ロボット、企業ブランディング、学生と取り組むまちづくり等の分野に極めて強い関心が集まり、自由記述でも「今後具体的に相談したい」等の前向きな声が多数寄せられ、実効性の高い成果を得ました。今後は研究協力課を公式窓口に定期的な情報発信を行い、地域の皆様との密接な連携をより確実なものへと推進していく方針です。これより本学の持つ高度な知見や技術を地域へ還元し、社会へ貢献する組織を目指します。



活動.03

アーチェリー部から、 2年連続でナショナルチーム入り

総合経営学科3年生の松野さんは、高校時代は無名の選手でしたが、本学の手厚い指導と広大な射場という恵まれた環境のもと、その才能を開花させました。ナショナルチーム選出後の合宿では、五輪代表や海外選手と競い合い、世界を肌で感じる日々を送っていると語ります。さらなる飛躍を遂げ、世界に挑戦し続けることが期待されます。



【アーチェリー部】

総合経営学科 3年生 松野智一さん

活動.05

岡崎地域文化広場ふれあい広場・ 野外ステージの壁画をデザイン

岡崎市との「連携協力に関する包括協定書」に基づき、令和6・7年度の取組みとして、岡崎地域文化広場ふれあい広場・野外ステージの壁画デザインおよび塗替え作業を岡崎市より受託し、プロジェクトを進めてきました。このたび大屋根と野外ステージが完成し、2025年11月9日(日)にオープニングイベントが開催されました。壁画デザインは大学院造形学専攻のSUN QIHENGさん(2025年3月修了)、塗替え作業はデザイン学科卒業生の林亨さんが担当。当日の司会はスマートデザイン学科3年生の渡邊乃愛さんが務めました。



活動.07

モリコロパークに「木もの屋」が出展

2025年8月29日～31日の3日間に渡ってモリコロパークで開催された「地球を愛する学園祭」にて、本学の有志団体「木もの屋」が、独自の木製屋台を組み立て、出展しました。オリジナル木製製品の販売や駒回しのワークショップを一般来場者に展開し、大盛況となりました。同時期に出展した他大学を抑え、最も印象に残るブースに与えられる「MIT賞」も受賞しました。



活動.09

建築競技部ACCが、建築系愛知16大学 設計競技で優秀賞を受賞

2025年12月14日(日)、名古屋都市センターで開催された、第7回建築系愛知16大学共通設計競技(建築系コンペティション)に、本学建築競技部ACCが参加し、「優秀賞」を受賞しました。

【参加メンバー】

3年生 大形菜月さん、下田愛貴さん
1年生 朝田莉宇さん、矢田芽依さん



活動.04

救急車カーラッピングのデザインが採用 岡崎市消防長より感謝状が贈呈されました

岡崎市の街を走る新しい救急車のデザインを、本学3年生の安井七海さんが手がけました。今回のプロジェクトは、岡崎市と本学の包括連携協定の一環として実現したものです。安井さんは、救急活動への理解を深める優れたデザインを考案。その功績が認められ、本日、消防本部消防長室にて感謝状が贈呈されました。



【受賞者】

スマートデザイン学科 3年生 安井七海さん

自分のデザインが実際の車両となり、市民の皆さんの目に触れることは、学生にとって大きな自信に繋がりました。

活動.06

第8回東海地区音声関連研究室卒業論文 優秀発表賞を受賞

2025年12月13日(土)に大同大学で開催された第8回東海地区音声関連研究室卒業論文(中間)発表会(日本音響学会東海支部後援)において、スマートデザイン学科4年の神尾若葉さんが以下の研究発表を行い、「優秀発表賞」を受賞しました。



【発表タイトル】

ARキャラクター「コトコ」を用いた子どもの片づけ行動促進手法の提案と評価
この会には東海地区7大学(名城・中部・大同・愛知県立・愛知工業・愛知工科・愛産大)が参加し、71件の発表が行われました。

活動.08

産官学で行う空き家利活用を通じたまちづくり 三重県志摩市波切地区での実践

人口減少が著しい地方部では、空き家を利活用し地域の活性化を図ることが急務です。現在、寺嶋研究室では三重県志摩市をフィールドとし、産官学が連携して空き家を地域資源として活用するために調査、設計、施工を3カ年計画で行っています。

2026年度は、改修工事がスタートし、学生と共に漁村らしい材料をアップサイクルした仕上げや家具のデザインを進めています。



活動.10

令和7年度学生フォーラムが開催されました

2025年12月13日、岡崎女子大学にて岡崎大学懇話会主催「第25回学生フォーラム」が開催されました。本フォーラムは岡崎市内4大学・短大の学生が主体となり、地域に関する研究や活動を発表する場です。本学からは総合経営学科3年楠見テンジさんが口頭発表、建築学科3年鈴木杏さんとスマートデザイン学科4年林岸主真さんが展示発表を行いました。当日は多くの来場者で賑わい、最後には交流会と表彰が行われました。



クラブ活動（強化指定クラブ）

硬式野球部



硬式野球部は2002年に創部、現在は70名の部員が所属しています。専用の硬式野球場・室内練習場を有し、天候に左右されず練習に打ち込める環境が整っております。

ここ数年リーグ戦では、あと一步のところまで進み悔しい結果に終わっていますが、2026年度は「全員戦力」で2部リーグ優勝、1部昇格を目指します。

〔2025年度実績〕

愛知大学野球連盟

- 春季リーグ戦 2部B 優勝(8勝0敗)
- 秋季リーグ戦 2部B 優勝(7勝3敗)
- 2部優勝決定戦 勝利(2勝0敗)
- 入替戦(1勝2敗)2部残留

アーチェリー部



アーチェリー部は、男女ともに全国大会で優勝することを目指し、日々練習に取り組んでいます。部員28人は全国大会常連校として積極的に他校とも交流を深め、お互いを高め合っています。

〔2025年度実績〕

全日本学生アーチェリー王座決定戦

- 女子団体 6位、男子 3位、女子準決勝 敗退
- 全日本学生アーチェリー個人選手権大会
- 男子 4位、女子 3位
- ナショナルチーム選考会
- 日本代表選出 松野 智一
- 全日本ターゲットアーチェリー選手権大会
- 男子 7位、女子 4名出場

男子ハンドボール部



ハンドボール部は現在、部員18名、スタッフ3名の21名で活動しています。体育館に空調設備も増設され快適な環境で日々練習しています。

昨年度は春のリーグ戦において1部残留したものの、秋リーグにて最下位となり、入替戦で敗れ2部に降格してしまいました。2026年は昨年の悔しさをバネに再び1部昇格を目指し全員で練習に打ち込んでいます。少ない人数ではありますが力が結集して試合に臨んで行きたいと思います。

〔2025年度実績〕

- 東海学生ハンドボール連盟
- 春季リーグ戦 1部 9位(1勝8敗) 1部残留
- 秋季リーグ戦 1部10位(0勝9敗) 2部降格

男子バレーボール部



男子バレーボール部は2002年に強化指定部活動となり、現在18名で活動しています。2部上位、さらには1部昇格を目指し、部員全員で頑張っていきます。

〔2025年度実績〕

東海大学バレーボール連盟

- 春季リーグ戦 2部 2位(6勝1敗)
- 秋季リーグ戦 2部 3位(5勝2敗)
- 愛知県大学バレーボール連盟
- 春季リーグ戦 1部 5位(0勝4敗) 2部降格
- 秋季リーグ戦 2部 優勝(4勝0敗) 1部昇格
- 西日本大学選手権 決勝トーナメント進出



Interview

新任教員紹介 01

情報学部 知能情報学科

澤田 好秀 教授

〔担当科目〕人工知能概論I、データサイエンスA、
ロボットデザイン論、スマート空間論

学生時代

私は、学生時代から一貫して人工知能(AI)の研究に取り組んできました。研究の出発点は、医用画像処理です。CT画像やFDG-PET画像から、腫瘍や臓器の位置を自動的に検出する技術に関心を持ち、画像認識AIを医療現場に応用する研究を進めてきました。医療分野では、AIの出力が診断や治療方針に関わる可能性があるため、高い精度だけでなく、信頼性や解釈性も重要になります。この経験は、現在の私の研究姿勢の基盤になっています。

医療・生命科学へのAI実応用

企業に入ってから、医用画像とAIを組み合わせる研究開発に携わっていました。その過程で、数字画像認識で得られたAIの知識が病変検知へ転移可能であることを見出し、国際学会で賞を受賞しました。この知見は画像だけにとどまらず、タンパク質情報を用いた敗血症検知にも応用され、現在でも継続的な研究テーマの一つとなっています。

材料インフォマティクスへの展開

その後、モントリオール大学/Milaに客員研究員として滞在し、AIを用いた新材料探索、すなわち材料インフォマティクスの研究に従事しました。医療画像や生命科学とは異なる分野ですが、限られたデータから有用な構造や規則性を見つけ出すという点

では、AIの本質的な役割は共通しています。この経験を通じて、AIは特定の応用領域に閉じた技術ではなく、医療、材料、産業など多様な領域を横断して価値を生み出す基盤技術であることを強く認識しました。

脳型AIと次世代AI基盤技術

帰国してからは、人の脳に近い情報処理を目指すSpiking Neural Network (SNN)の研究を推進しています。SNNは、脳の神経細胞のようにスパイク状の信号を用いて情報を処理するモデルであり、低消費電力かつ次世代型のAIとして期待されています。私はこの技術に大きな可能性を感じ、現在も研究を続けています。また、Transformerに替わる次世代AI技術の研究開発にも取り組んでいます。

今後の展望

このように私は、医療AI、生命科学応用、材料探索、脳型AI、次世代基盤技術という、基礎から応用にわたる幅広いAI研究を、様々な場所で進めてきました。私の強みは、AIの理論やモデル開発に加えて、それを実社会の課題に接続してきた点にあります。本学では、これまでの研究内容をさらに発展させるとともに、学生がAIを基礎から応用まで体系的に学び、社会で活用できる力を育む教育にもつなげていきたいと考えています。

PROFILE

〔学歴〕

2013年3月 名古屋工業大学大学院情報工学専攻博士後期課程 修了

〔経歴〕

2009年 4月～2010年3月 オムロン株式会社

2013年 4月～2020年6月 パナソニック株式会社

2018年11月～2020年1月 モントリオール大学/Mila

2020年 7月～2024年4月 株式会社アイシン

2024年 5月～2025年5月 株式会社松尾研究所

2025年 6月～ 株式会社Third Intelligence

〔主な受賞〕

2015年5月 MVA best poster award

2021年7月 MIRU優秀賞

〔現在の主な研究テーマ〕

脳型AI

AIプロテオミクス

材料インフォマティクス



Interview

新任教員紹介 02

情報学部 知能情報学科

鈴木 雄太 准教授

[担当科目] 数学と社会、情報処理のための基礎数学、
情報処理基礎I・II

整数は分からないことだらけ

整数論と呼ばれる、1,2,3,...といった整数の性質を調べる数学の一分野の研究をしています。今日の数学では専門的知識がないと理解できないテーマが多いですが、私はもっと親しみやすい問題に興味を持っています。例えば、「4以上の偶数は必ず素数ふたつの和で書き表せるだろう」というゴールドバッハ予想は内容は簡単に理解できますが、250年以上未解決です。また、古代ギリシャのピタゴラスが友人関係の象徴として言及したと言われる友愛数は、現在でも無限に存在するのか知られていません。単に解けないだけでは研究にならないので、このような未解決問題を弱めた結果を証明し、どれくらい元の問題に迫れたかという世界記録を更新することを目標にしています。

保持している世界記録

今まで、ゴールドバッハ予想の変種である素数と平方数の和に関する結果や、「互いに素な友愛数は存在しないだろう」というグメリン

の予想に対する「存在しても特定の上限がある」という結果などの世界記録を更新したりしました。最近は、10進法、16進法などの位取り記数法による整数の表示の研究として、例えば「素数であって特定の合同条件を満たすものは無限に存在する」という古典的なディリクレの定理を“逆から読んで”、「素数であって逆から読むと特定の合同条件を満たすものは無限に存在する」という定理を証明しました。

正しさの検証、芸術、AIへ

本学では、このような親しみやすいテーマを用いて、数学にロマンを感じてもらえるような教育を行っていかれたらと思います。また、数学の証明の形式化やプログラムの形式証明を行うIsabelle/HOL、Leanといった定理証明支援系や、数学を用いたジェネラティブアート、AIの数学研究への応用にも関心を持っているので、教育や研究に活かしていきたいです。



Interview

新任教員紹介 03

情報学部 総合情報学科

築瀬 康 講師

[担当科目] スポーツ健康データ分析A・B、
コンディショニング論、スポーツA・B

現場の問いを、研究へ

「どのような練習をすれば、もっと高く跳べるのか」「このストレッチには、どのような効果があるのか」。私の研究は、こうした現場の問いから始まります。10年間、理学療法士として医療やスポーツの現場に関わってきました。そこで実感したのは、現場にはまだ十分に検証されていない問いが多く残されていることです。その問いを科学的に検証し、得られた知見を社会へ発信することで、現場で役立つ研究を続けていきます。

研究を、学生の学びへ

授業では、スポーツ科学の最新知見を伝えるだけでなく、自分で考え、他者に説明できる力を育てます。それが、社会で必要とされる「考えて行動する力」につながると考えています。また、学生が身近なスポーツの問いを研究テーマとし、測定・分析・発表を経験できる教育を行います。現場の問いを研究で検証する過程を通じて、主体的に学ぶ力を育てます。

学びを世界へ広げる

前任校では、学部生による国際学会発表や海外大学との交流など、世界に触れる機会をつくってきました。そこで実感したの

は、学生は機会があれば大きく成長するということです。本学でも、世界との接点をつくる教育に取り組んでいきたいと考えています。さらに今年度は、私自身、青年海外協力隊の隊員として、カンボジアでの国際ボランティア活動に関わる予定です。現地では、カンボジア代表のパラアスリート選手に対するトレーナー業務を行う予定であり、その経験を単なる個人の活動にとどめず、学内における教育活動にもつなげていきたいと考えています。

岡崎から、誇れる大学をつくる

「ASU Re:Design 2027」に向けて、教育・研究・地域貢献の質向上に取り組みます。学生には、「愛産大で学生生活を送ることができて良かった」と感じてもらえるように、地域の皆様からは、「愛産大が岡崎にあって良かった」と感じていただけるように、研究・教育・社会貢献を通じて、誇れる大学づくりに尽力します。

PROFILE

[学歴]

2014年3月 東京大学 理学部 数学科 卒業

2016年3月 名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 博士前期課程 修了

2019年3月 名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 博士後期課程 修了

[経歴]

2019年4月～2020年3月 名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 教務助教

2020年4月～2021年3月 名古屋大学大学院 多元数理科学研究科 博士研究員

2021年4月～2026年3月 立教大学 理学部数学科 助教

[競争的資金等の研究課題]

- ・「数論における指数和の応用の新展開」
- ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 2019年～2022年
- ・「数の解剖学と生理学 ～素数や真約数和の統計的研究～」
- ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 2021年～2025年
- ・「数論的現象の局所統計に対する統一的アプローチの探求」
- ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 2026年～2030年

[主な受賞]

2018年6月 名古屋大学 学術奨励賞

2021年9月 日本数学会 建部賢弘賞(奨励賞)

[現在の主な研究テーマ]

素数の分布

整数の記数法に関する性質

有理点の分布

PROFILE

[学歴]

2014年3月 埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科 卒業

2016年3月 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻修士課程 修了

2021年3月 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻博士後期課程 単位取得満期退学

[経歴]

2021年4月～2026年3月 同志社大学スポーツ健康科学部 助教

[競争的資金等の研究課題]

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2026～2028年度

[現在の主な研究テーマ]

ストレッチングやトレーニングが身体機能・運動パフォーマンスに及ぼす影響

研究活動紹介

計算困難性への挑戦:理論的アプローチ

情報学部 総合情報学科 教授 藤戸 敏弘

昨今では「アルゴリズム」という言葉もメディアでよく取り上げられ、普通に使われる言葉になってきた感があります。スマホをはじめ、日常生活の隅々でコンピュータが使われるようになり、色々と便利なことをしてくれているのはアルゴリズムなんだ、と徐々に認知されてきたのかもしれませんが。一般には、アルゴリズム＝単なる計算手順、と捉えられているようですが、実はより厳密に教科書的に言う「アルゴリズムは間違っていないか」というものです。従来のアルゴリズム研究でも、そのような決して間違えないアルゴリズムを如何に設計するか、その上で如何に高速化するか、というのが中心テーマであり、考案者の名前を冠した有名なアルゴリズムがいくつも知られています。

ところが、実用的に重要な問題の多くが、入力データサイズと共に計算量が爆発的に上昇せざるを得ない、本質的な計算困難問題ではないかと考えられ、このことは、前世紀における必死の努力にもかかわらず未だ証明されてはいませんが、ほぼ信じられています(「P≠NP問題」として知られています)。この種の問題の例として、「巡回セールスマン問題」という、セールスマンが最短時間(あるいは最短距離)で顧客訪問を終えるための訪問順を決める問題があります。しかし、本質的に計算困難な問題に対しては、「間違えず」と「高速に」を両立させて解くことは不可能です。そのため、従来の金科玉条であった「間違えない計算」を場合によっては放棄しようという動きが出てきました。更に話を複雑化させたのは、今世紀に入ってからIT社会の大規模化、多様化によって、従来「計算機には向かない」と言われていた分野に計算機が堂々と進出して来たことです。

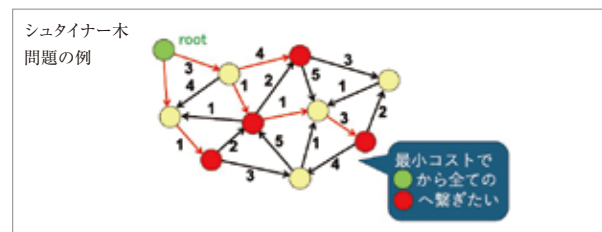
例えば列車ダイヤの線引きとかコンビニの配送計画等、従来いわゆる職人芸の世界でしたが、最近では質の良い近似解を計算機が瞬時にしてくれます。また為替取引やオークションと言った経済活動では、将来の為替変動や他人の行動が分かりませんから、正確な計算はそもそも不可能なのですが、それでも与えられた条件下で出来るだけ良いアルゴリズムを設計することができるようになってきました。また、皆さんも日常的にネット検索を利用されていると思いますが、検索エンジン(アルゴリズム)が返す結果を、全くの主観抜きに良し悪しを議論することはできません。こうした応用において最も重要なのは、計算機が出してくる解答がいかに我々の要望にかなっているかです。つまり、アルゴリズムの目指すものが、速度から解の品質に大きく変化して来たのです。

このように、現在の計算機処理(即ち、アルゴリズムによる解決)が求められる問題は様々なレベルの困難性を伴っていますが、その様な計算困難問題に対して高品質な解の計算を保証する、実用性の高いアルゴリズムの設計や汎用性のある設計方法について研究してい

ます。もう少し具体的に言うと、現在は以下のような研究テーマに取り組んでいます。

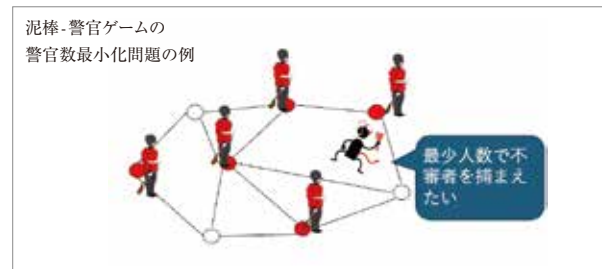
新しいアルゴリズムやモデルの設計

資源配分、施設配置、生産／配送計画、スケジューリング、VLSI設計、最適ルーチングなどに現れる重要な組合せ最適化問題(典型的にはグラフ・ネットワークや集合の問題ととらえる)を主な対象として、新しいアルゴリズムや数理モデル化を考案／設計します。その正当性や有効性を示すため、理論的解析あるいは計算機実験により性能評価を行います。



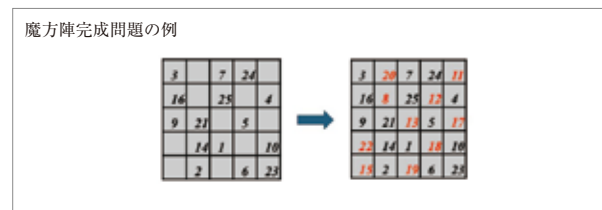
アルゴリズム設計手法の開発

組み合わせ最適化問題を解くアルゴリズムの動力源となる、最適化の原理やメカニズムについて追求します。テーマ1と比べ、よりメタな考察が必要となり、例として、線形計画法の双対定理・相補性定理や分割統治法に基づくアルゴリズム設計技法などがあげられます。



パズル・ゲームの計算量

パズルを解くのは難しい、だけど解けたら爽快感が得られます。NP完全といわれる計算問題には、このような特性があり、多くのパズル問題がNP完全であることがわかっているものの、重要な未解決パズル(例えば、魔方陣の完成問題)も残っています。また、パズルを解くだけでなく、(良い)パズル問題を作るためのアルゴリズムやその難しさも重要テーマであります。

藤枝研究室2025年度活動報告:卒業研究
造形学部 建築学科 教授 藤枝秀樹

藤枝研究室では、「BIMを使った建築設計エスキスプロセスの開発についての研究」:令和4年度科学研究費助成事業基盤研究(C)(一般)22K 02873、「公共複合施設の共用空間の研究」、「合葬墓・納骨堂のあり方についての研究」、「医療福祉施設計画又は小中学校等教育施設計画に関する研究」について研究活動を行っています。2025年度卒業研究では藤枝研究室から3つの論文が発表され、曾根氏・伊藤氏は全国展示、ローゼン氏は名古屋展示されました。

「都市における納骨堂の在り方」
～納骨堂の需要を増大させる建築的提案～
[造形学部 建築学科 曾根未琴]

本論文は、納骨堂はアクセスの良さなどの強みがある一方、人工的な閉塞感や情緒的価値の欠如から需要が停滞していることを明らかにし、さらに、名古屋市内の事例調査を経て、「生命の循環」を視覚化したスパイラル構造などの建築的工夫を提示し都市型納骨堂を単なる収蔵施設ではなく、光と緑が融合した持続可能な折りの場へと転換させることを提案しています。

「沖縄北部の墓地の実態調査と
今後の在り方についての提案」

[造形学部 建築学科 ローゼン千絵]

本論文は、沖縄特有の亀甲墓や洗骨といった伝統的な葬制が、戦後の社会変化や観光開発の影響で、無縁墓の増加や景観の乱れといった深刻な問題を引き起こしている実態を浮き彫りにし、文献調査や住民への聞き取りを通じ、管理負担の軽減や景観保全を両立させる解決策として、自然と調和する海を臨むデザインなどの具体的な構想を示し、地域社会の持続可能性に寄与する未来の供養の形を提案しました。

「VR空間モデルを使った
地域施設計画調査手法の開発」
～建築施設調査におけるVR空間の有効性の検証その展開～
[造形学部 建築学科 伊藤優希]

本論文は、建築設計や施設調査におけるバーチャルリアリティ(VR)技術の有効性を検証した研究論文です。研究では3DCGモデルを用いて施設を忠実に再現し、学生を対象とした視線追跡や動線観察、ヒアリング調査を実施しました。現実空間では困難な環境操作や詳細な心理把握がVRで補完できる可能性を示唆し、建築教育や実務設計への応用展望をまとめています。



また、一般社団法人火葬研では、大澤香乃氏が卒業研究作品「白百合の泉」で学生顕彰「優秀作品賞」大賞を受賞しました。作品では、葬送儀式の中に粉骨を花の苗ポットに客土と一緒に混ぜて入れ、木立の散策路沿いの緑地に植える行為を新たに付加した葬送プログラムを提案しています。墓守の不在化等の社会問題を「葬送行為の新たな提案」という切り口で解決を図った社会に一石を投じる優れた提案と言えます。



研究報告:建築通信教育における建築模型の3Dスキャン技術の活用

造形学部 建築学科 准教授 増田忠史
造形学部 建築学科 教授 家田諭

通信教育部建築学科で学ぶ社会人学生にとって、模型制作は建築設計を学ぶうえで欠かせない演習です。しかし、遠隔・非同期で学ぶ環境では、学生が制作した模型を教員に見てもらう手段は写真の提出に頼らざるを得ず、模型本来の立体的な空間構成や素材感を十分に伝えることが難しいという課題がありました。同様に、教員から学生に対して見本となる模型を示す場合にも、二次元の画像では情報が限られてしまいます。

この課題に対し、私たちは2022年度から、模型を立体的に記録・共有できる3Dスキャン技術の教育への導入を継続的に進めてきました。2025年12月に開催された第48回情報・システム・利用・技術シンポジウム(情報シンポ2025)(日本建築学会 情報システム技術委員会主催)では、これまでの取り組みを「遠隔・非同期環境の建築教育における模型の3Dキャプチャ技術の活用」と題して発表しました。



「第48回情報・システム・利用・技術シンポジウム(情報シンポ2025)」でのポスター展示およびデモンストレーション風景

導入当初(2022～2023年度)は、模型を回転させながら多方向から撮影した写真を合成する「オブジェクトVR」を採用し、造形課題の見本教材としてWeb上で公開しました。続く2024～2025年度には、スマートフォン上で処理が完結する「3D Gaussian Splatting(以下、3Dgs)」(注1)技術による3Dスキャンを導入することで、模型を全方位から自由に眺められるようになり、学生から教員への模型データの共有も試みました。さらに2025年度からは、クラウド処理型の3Dgsアプリを導入し、模型の細部や素材感までより高精細に再現できる手法へと発展させています。これらの高精細な3Dデータは、造形課題や設計課題の見本教材として、複数の演習系授業で学生に公開しています。

こうした技術は、年度末の卒業研究展にも活用しています。2025年度のオンライン卒業研究展では、名古屋・福岡・東京の3会場の展示空間を「Matterport」(注2)でVR化し、会場内の各作品にプレゼン

テーションボード、模型の3Dスキャン、学生本人による発表動画、公開講評会の記録映像へのリンクを配置しました。鑑賞者は、ウェブブラウザやスマートフォンの画面越しに、実際の会場を歩いているかのよう

に作品を味わうことができます。教員から学生への見本教材の提示、学生から教員への模型データの共有、そして成果発表の場である卒業研究展のオンライン化等、3Dスキャン技術は、通信教育における立体情報の伝達手段として、複数の学習場面で活用が広がりつつあります。今後も、遠隔教育ならではの新しい学びの形を探っていきたいと考えています。



2025年度オンライン卒業研究展(上から福岡展、名古屋展、東京展)

▶ オンライン卒研展



福岡



東京



名古屋

※本研究は令和5年度科学研究費助成事業「オブジェクトVRを利用した遠隔・非同期での建築教育ツールの開発についての研究」(研究代表者:増田忠史、研究分担者:家田諭)による助成を受けた研究の一部です。

注1: 3D Gaussian Splatting:多数の写真から立体形状を再構成し、無数の小さな粒子の集合として3次元空間を表現する技術。近年、高精細かつ軽量の3D表現手法として注目されている。

注2: 米国のMatterport社が提供する空間データプラットフォーム。現実空間から没入感のあるデジタルツインを作成できる。

大学活動紹介

卒業研究展

2026年2月から3月にかけて、名古屋・東京・福岡にて卒業研究展を開催しました。名古屋と東京では、校友会主催の卒業懇親会(ホームカミングデイ)と日程を合わせたこともあり、多くの方々にご来場いただきました。働きながら学ぶ学生たちによる作品は、今年も見応えのあるものばかりで、来場者の関心を集めました。また、名古屋スクーリング会場では、通学部建築学科の宮崎晋一先生、栗原健太郎先生、寺嶋利治先生をゲスト講師に迎え、公開講評会を開催しました。会場では、学生たちが取り組んできた研究・設計成果に対し、講師陣から専門的な視点による講評が行われ、作品の特徴や今後の可能性について活発な意見交換が交わされました。学生たちにとっては、自身の作品を多角的に見つめ直し、学びをさらに深める貴重な機会となりました。

講評会の様子は会場開催に加え、Zoomによるライブ配信も実施し、遠方在住者や都合により来場できない方々にも視聴いただける環境を整えました。オンライン配信を通じて、多くの学生や関係者が講評会に参加し、作品発表と議論の場を共有することができました。講評会終了後には講師による審査が行われ、その結果、関山愁人さんの作品「日常の先に一蟹江における地域交流防災センターの創生」、佐藤宇衣さんの論文「谷口吉生の建築作品を構成する『建築の意匠要素』に関する研究—谷口吉郎から受け継がれたもの—」が公開講評会賞を受賞しました。いずれも独自の視点と高い研究・設計内容が評価され、今年度の公開講評会を代表する力作として注目を集めました。



紙版画研究室

「教わる」から「教える」へ

昨今「紙版画研究室」では、メンバーの学生がワークショップの講師を担当する機会が多くなってきました。今回はこのことについて紹介いたします。

「紙版画研究室」とは紙版画の技法開発や造形発想手法の研究、紙版画の普及を目的とする団体で、週1回程度集まり私の指導の下研究活動を行っています。構成メンバーは愛知産業大学通信教育部卒業生および科目等履修生です。

「紙版画研究室」は2002年の発足以来現在に至るまで24年間活動が続けていますが、この間にいくつかのステージの変化がありました。第1のステージは発足当初、ほとんど経験のない学生達が初めて出会う版画を楽しむ趣味的な段階です。第2のステー

ジになるとそれぞれ自分の志向に合わせ技法を選び自身のスタイルを確立しコンクールや公募展で少しずつ対外的な発表もするようになった、いわば作家としての芽生えの段階です。第3のステージになると国内外でのコンクールや公募展での入賞、入選や公募展会員として地位を確立、また東京での個展、グループ展開催など活動がより高度化し、まさしく作家集団と呼ぶに相応しいものとなってきました。

この第3のステージで「紙版画研究室」としては十分満足できる成果としても良いでしょう。しかし研究室の主宰者としては、もうひとつ次のステージへの発展を望んでいました。それはこれまで学ぶ立場だった学生たちが今度は自分たちが教える立場になるという段階です。教える立場になるということは、自身の持つ知識や技術を整理し体系化する必要があります。また指導を通じ、自分が扱っているその同じ知識や技術が学ぶ人それぞれによって様々に解釈され実践される様子を体験することは大きな気づきとなり自身の制作にもなんらかの影響を与えるものとなるでしょう。教えることは学ぶこと、このことを実体験してもらいたいと考えています。

また自身の知識や技術を伝えるという活動を通じ紙版画という文化の伝承の担い手であるという自覚を芽生えさせたいという思いもあります。

以下は、2025年以降に
学生が講師を担当したワークショップです。

- ▶ メディウム剥がし刷り紙版画
(愛知県立岩津高等学校/愛知県岡崎市)
- ▶ パスタマシンを使った紙版画ドライポイント
(ギャラリー水の音/岐阜県岐阜市)
- ▶ メディウム剥がし刷り紙版画
(岡崎市民講座/愛知県岡崎市)
- ▶ メディウム剥がし刷り紙版画
(ギャラリーカノン/東京都中央区)
- ▶ 紙やすり台紙を用いた一版多色刷り紙版画
(ギャラリーカノン/東京都中央区)
- ▶ ジェッソアクリラントによる濃淡紙版画
(ギャラリーカノン/東京都中央区)
- ▶ メディウム剥がし刷り紙版画
(ギャラリーLULU MALU/愛知県豊田市)
- ▶ パスタマシンを使った紙版画ドライポイント
(中部春陽会研究会/愛知県名古屋市)

また2026年秋に東京都美術館で開催される版画協会展におけるワークショップの講師のオファーがありました。版画協会は長い歴史と権威を持つ日本で最大規模の版画専門の公募団体、学生にとってはこの上ない大きな舞台となります。

卒業生インタビュー



卒業生

京都橘大学

[通信教育課程 総合心理学部 3年]

なかね そあ
中根 宙愛さん

卒業生

桜花学園大学

[国際学部国際学科 韓国専攻 3年]

かわたけ きょうか
河竹 杏香さん

不安からのスタート。

まなび場がくれた「絶対的な安心感」。

—— お二人が「まなび場」を利用して良かったと感じた点、成長できたポイントを教えてください。

河竹さん：入学前は体調もあまり良くなく、「本当に短大を卒業できるのだろうか」と深く悩んでいました。でも、まなび場に行けば必ず目の前に先生がいて、どんな小さなことでもすぐに相談できる環境がありました。そのおかげで、全日制の大学へ編入するという新しい目標を見つけることができたんです。通信制というと「孤独に一人で学習する」というイメージがありましたが、ここではレポートの論理的な書き方やパソコンソフトの基本操作、さらには図書館での専門的な参考文献の探し方まで、基礎から本当に丁寧に教えてもらえました。もし、まなび場というサポート体制がなかったら、私の大学編入は難しかったと断言できます。卒業した今でも恋しくなるくらい、私にとって最高に居心地の良い場所でした。

中根さん：私もまなび場に参加するまでは、一人きりで学習スケジュールを管理し、進められるかどうかがすごく不安でした。でも実際には、最初の壁となる履修登録の方法から学習システムの効果的な使い方まで、一から手厚くサポートしていただきました。毎週通って、先生や同じ目標を持つ友達と学習の進捗状況を共有し合えたからこそ、モチベーションを維持して頑張り抜くことができたのだと思います。週に1回、3時間から4時間という限られた短い時間だからこそ、驚くほど集中して学習や相談に取り組みました。現在は通信制の4年制大学に編入していますが、まなび場での2年間で「自ら学ぶ力」と「学習のペース」をしっかりと身につけられたからこそ、今の私があります。まなび場に通っていなかったら、編入という道は選んでいなかったと思います。

短大での学びは私の「青春」だった。

温かい仲間と過ごしたかけがえのない日々。

—— まなび場はどのような雰囲気でしたか？

学生生活で特に印象に残っているエピソードがあれば教えてください。

河竹さん：とても柔らかくて、いつでも気楽に何でも話せる温かい雰囲気です。スクーリング(対面授業)だけだと年上の方が多く、同世代の友達は少しできにくいかなと思いついていたのですが、まなび場には同世代の仲間がたくさんいて、自分の置かれている状況や悩みを率直に打ち明けることができました。趣味の合う友達も見つかりましたよ。特に印象に残っているのは、初日に緊張のあまり遅刻してしまった時のことです。先生方は怒るどころか「遅れてもいいから、まずは来てくれればそれでいいんだよ」と、とても温かく笑顔で迎えてくれました。その懐の深さに救われ、その後は休まず通い続けることができました。



中根さん：とにかく心が落ち着く、安心できる空間でした。先生も学生も、みんなが親身になって話を聞いてくれるので、とても自己表現がしやすかったです。特に記憶に残っているのは「国際コミュニケーション演習」という課題提出型の科目です。一人で取り組むのではなく、まなび場の仲間と一緒に図書館へ行って資料を調べたり、どんなテーマにするか情報交換をしながら進めました。これがかっけで一気に仲良くなりましたし、通信制でありながら、まるで通学生のような気分を存分に味わうことができました。私の人生の中でかけがえのない思い出であり、まさに「青春」そのものでした。通信制の大学で、こんな風に深く仲良くなれる仲間に出会えるとは思っていませんでした。



教科書だけでは学べない。

将来に直結する手厚い実践的サポート。

—— 日々の教科学習以外で、印象に残っているサポートや役立ったことはありますか？

中根さん：将来のキャリア形成に直結する「特別授業」を定期的で開催してくれたことです。具体的な大学編入対策や就職活動に関する卒業生のリアルな体験談をはじめ、ビジネスメールの正しい送り方や、社会人として恥ずかしくない言葉遣いなど、短大のカリキュラムとは直接関係のない実践的なビジネススキルまで幅広く教えてもらえました。この時に培った経験や知識は、編入後の今の大学生活、そして社会に出てからも間違いなく生きる一生の財産になっています。

河竹さん：中根さんが言う通り、ビジネスメールの送り方は今の生活で本当に役立っています。私たちは普段LINEなどのSNSでのやり取りばかりで、まなび場で教わるまでは、きちんとしたフォーマットでメールを送った経験がありませんでした。編入先の大学では、教授にメールで連絡を取る機会が頻繁にあるため、あの時まなび場で正しいマナーを学んでおいて本当に良かったと心から感謝しています。

短大での学びをステップに。

それぞれの夢と新たなステージへ。

—— 二人は短大卒業後、それぞれ別の新たな道へ進めました。
編入を決意した理由や、今後の将来の夢について教えてください。

河竹さん：入学時は「なんとなく日本語教師になれたらいいな」という軽い気持ちで日本語教育コースを選びました。でも、実際に専門的な勉強を始めてみたら、これが本当に楽しくてのめり込んでしまったんです。短大の先生の紹介で日本語指導員のボランティアという貴重な現場を経験できたことや、もともと韓国の文化が好きだったことも重なり、さらに深く学ぶために国際学部の韓国語専攻への編入を決意しました。

大学卒業後は、国家資格である登録日本語教師の試験に挑戦します。そして将来は、大好きな韓国に渡って現地で日本語を教えることが、私の現在の一番大きな夢です。



中根さん：私は短大での2年間で基礎心理学を学ぶうちに、この分野の奥深さに魅了され、さらに専門的に体系立てて学びたいと強く思うようになり、総合心理学部への編入を決めました。また、将来の選択肢を広げるためにも、何をするにしても4年制大学を卒業しておいた方が良かったのも理由の1つです。学業の一方で、私は現在プロとしてダンスの活動もしており、キッズから大人まで週に2つのクラスでインストラクターを務めています。昨年は有名な女性アーティストのバックダンサーを務めさせていただくなど、外部からのオファーも増えてきている状況です。今後は、大学での心理学の勉強とダンスの活動を両立させ、さらに自分の可能性を広げていきたいです。



まなび場 [学びの積み重ねをサポート]

通信教育課程の短期大学では、
「まなび場」という学習支援の場を設けています。

通信教育と言えはかつては社会人学生が主流でしたが、近年では多様な学生が学んでおり、高校卒業直後の18歳、通信制や単位制の高校からの入学者、外国籍の学生なども増えています。中には他の人とコミュニケーションを取ることや学習活動の中で困難を感じたり、自分でスケジュールを立てて実行するのが苦手だったり、さまざまな支援のニーズが高まっています。そこで2024年度から、名古屋サテライトで週1回の学習支援「まなび場」を開催しています。

まなび場では、社会経験の少ない学生たちが、さまざまなことを学んでいます。大人のメールの書き方、就職活動の手順、大学編入のための学習や面接練習、国際コミュニケーション演習という課題探求科目のために各自が設定したテーマを議論したり、通信科目のポイントや疑問点を教え合ったり、時にはフィールドワークに出かけたりと、充実した時間を過ごしています。また、必要に応じ個別面談を行い、困りごとや将来の希望について、一緒に考えていきます。



通信教育は孤独でたいへんだというマイナスイメージを払拭し、学生一人一人に寄り添うことは簡単ではありませんが、こうした学びとコミュニケーションの積み重ねを通じて、通信教育で学ぶ学生のみならず、近い将来社会に出たり進学したり、夢をかなえるための支援につながっていけばと考えています。

04



「名古屋たちばな」から広がる、私の可能性。

名古屋たちばな高等学校 全日制課程

(旧 愛知産業大学工業高等学校)

普通科／電気科／電子科／機械科

昭和37年6月開校(明治38年 私立愛知高等裁縫女学院創設)
校 長 坂 美好
副校長 野田 昌彦
教 頭 桂 幸司
事務長 落合 英治
生徒数 1,420名(男:1,255名・女:165名)
教職員数 専任教員:84名、非常勤講師:35名、職員:12名

設置学科・入学定員
◎普通科:80名
◎電気科・電子科:160名
◎機械科:200名

アクセス
地下鉄名城線「東別院駅」より徒歩5分
JR・名鉄「金山総合駅」より徒歩10分

所在地
〒460-0026 愛知県名古屋市中区伊勢山1-2-29
TEL 052-322-1911
<https://tachibana-hs.ed.jp/>



ホームページ

05



見つめる先に未来がある

名古屋たちばな高等学校 通信制課程

(旧 愛知産業大学工業高等学校)

普通科／電気科／機械科

昭和40年4月開校
校 長 坂 美好
副校長 野田 昌彦
教 頭 河合 幸司
事務長 落合 英治
生徒数 学年制:1,645名
単位制: 373名
(学年制は技能連携校の入学が条件となります)
教職員数 専任教員:16名、非常勤講師:3名、職員:2名

設置学科・入学定員・コース
◎学年制 普通科:840名、電気科:60名、機械科:60名
◎単位制 普通科:160名 午前コース・午後コース・日曜コース

アクセス
地下鉄名城線「東別院駅」より徒歩5分
JR・名鉄「金山総合駅」より徒歩15分

所在地
〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋1-21-25
TEL 052-322-5255
<https://www.asu-tchs.jp/>



ホームページ

06



感謝 礼儀 誠実 積極 努力

愛知産業大学 三河高等学校 全日制課程

普通科／電気科／情報処理科

昭和58年4月開校
校 長 玉腰 憲樹
教 頭 黒柳 洋一、平 俊一
事務長 秋野 健太
生徒数 1,219名(男:959名・女:260名)
教職員数 専任教員:75名、非常勤講師:21名、職員:13名

設置学科・募集定員
◎普通科:165名
◎電気科:100名
◎情報処理科:160名

アクセス
名鉄名古屋本線「藤川駅」より徒歩15分
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分

所在地
〒444-0005 愛知県岡崎市岡町字原山12-10
TEL 0564-48-5211
<https://www.mikawa.ed.jp/>



ホームページ

07



新しい単位制

愛知産業大学 三河高等学校 通信制課程

普通科

昭和60年4月開設
校 長 玉腰 憲樹
教 頭 野田 宗孝
事務長 秋野 健太
生徒数 学年制:1,492名
単位制: 340名
(学年制は技能連携校の入学が条件となります)
教職員数 専任教員:10名、兼務:2名、非常勤講師:2名、職員:3名

設置学科・募集定員
◎学年制 普通科:580名(男女)
◎単位制 普通科:120名(男女) 午前コース・午後コース

アクセス
名鉄名古屋本線「藤川駅」より徒歩5分
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分

所在地
〒444-3523 愛知県岡崎市藤川町西川向1-20
TEL 0564-48-5230
<https://www.asu-mikawa-tani.jp/>



ホームページ



Instagram

名古屋たちばな高等学校

全日制課程

04



「好き」を見つけて 「好き」を伸ばす

昨年度、最後の愛知産業大学工業高校生が卒業し、校名変更から3年目を迎えました。校名変更後から多くの変革を進め、生徒たちが元気に生き生きと自分の「好き」を伸ばしています。

部活動においては、全国大会への出場が多くなりました。スポーツアドバンスコースで日々鍛錬に励むバレーボール部が全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会(さくらVOLLEY)に出場。また、軽音楽部が全国高等学校軽音楽発表会に初出場し、審査員特別賞を受賞しました。その他にも、近年全国大会出場常連校である本校自転車部、少林寺拳法部、空手道部、マーチング

バンド部がそれぞれ全国大会へ出場を果たしました。毎年結果を残している技能大会においても、若年者ものづくり競技大会電気工事部門にて、本校生徒が銀賞を受賞するなど、それぞれの「好き」を高め、結果を残してくれています。

今年度も活気あふれる417名の生徒を迎え、ますます飛躍を続ける名古屋たちばな高等学校。生徒の「好き」で輝く笑顔をご覧ください。

[部活動の活躍]

バレーボール部 全国大会出場

成長著しいバレーボール部が、全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会(通称:さくらVOLLEY)に出場し、5位入賞を果たしました。バレーボール部は愛知県内でも有数の強豪であり、「名古屋たちばなでバレーボールをやりたい」と入学を希望する生徒も後を絶ちません。さらに近年では全国大会出場まであと一歩、という試合結果も多く、「もうすぐ全国大会出場も叶うのではないか」と期待の目を向けられていました。その中での全国大会出場の報に、本校は大いに沸き立ちました。バレーボール部は日々の練習はもちろん、外部チームとの合同練習を積極的に行うことにより、実力をつけています。さらに、昨年度はカナダU-19やアメリカU-19を招いての合同練習も行うなど、部員たちはさまざまな選手との交流を基に、学びを得て成長していきます。部員たちのバレーボールにかける情熱は目を見張るものがあり、全国大会出場、そして優勝を目指し一致団結し努力する姿は、とても輝かしいものです。バレーボールに向ける「好き」でチームが団結し、全員で1つの目標に向かって戦う。ひとつのボールを全力で追いかける彼らバレーボール部員の姿は、これからも私たちに勇気と興奮を与えてくれます。



軽音楽部の快挙!創部初の全国大会出場 審査員特別賞受賞

軽音楽部バンド「Parasols」が第4回全国高等学校軽音楽発表会～軽音楽SUMMIT～in Aichiに出場しました。メンバーであるヴォーカル&ギター担当秋吉鼓動さん、ベース担当名倉巧真さん、ドラム担当森川奏良さんが全国大会で演奏した楽曲「And i Love you so」は、3人が作詞、作曲をしたオリジナル曲。外部の講師に楽曲制作を学んだり、他校やライブハウスで演奏を行ったりと積極的に活動を行い、切磋琢磨の末に掴んだ全国大会でした。全国大会ではオープニングアクトを任され、見事に大役を果たしました。初めての全国大会、多くの観客の前でも物怖じすることなく堂々と演奏する3名の姿は多くの観客、審査員の心を掴み、結果として審査員特別賞を受賞するに至りました。また、ParasolsはNFES2026(Nagoya Music Festival 2026)にも出場し、準グランプリを受賞しています。「好き」を突き詰めていく軽音楽部。これからの活躍が楽しみな部活動です。

日本代表選手選出等躍進続ける自転車部

数々の全国大会で上位入賞を果たしている自転車部。昨年度はその功績が認められ、部員である倉谷俠例さんが日本代表選手に選ばれ、昨年4月下旬、イタリアで行われたレースに出場しました。また、倉谷俠例さんの弟であり、本校生徒の倉谷希輝さんもU-17強化選手に選ばれ、第3回アジアユースゲームス自転車競技部門に派遣され、バーレーンの地で世界の選手と戦いました。

国内においても自転車部は多くの結果を残しています。令和7年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)、同年度第49回全国高等学校選抜自転車競技大会でも本校生徒が多く出場。全国入賞を果たしました。インターハイでは団体競技である4kmチーム・パーシュートで初の7位入賞。選抜大会ではロードレース入賞、さらに学校対抗では全国9位という華々しい結果を残しています。「愛知県の高校で自転車をやるならたちばな」その呼び声も高い本校自転車部の躍進は止まることはありません。



[学生の活躍]

快挙! 国立大学合格

本校から国立大学合格者が輩出されました。令和7年度卒業の前野友希さんが国立豊橋技術科学大学の合格を勝ち取りました。前野さんは本校電気電子科に入学後、2年生からは進学コースを希望。大学選択の際に「自分の好きな情報分野を学びたい」という希望を持ち、その中でも国立豊橋技術科学大学のカリキュラムなど魅力を感じ、国立大学合格を目指しました。毎日の補習や模擬試験などに苦むこともありましたが、前野さんの周りには目標を同じくする進学コースの仲間たち、そして、目標を応援してくれる先生たちの姿が絶えずありました。「簡単な道ではない大学受験を、教員、クラスメートがサポートしてくれたのも支えでした」と前野さんは振り返ります。

工業科の進学コースは、普通科設置に伴い前野さんの代で終わります。その最後の最後で素晴らしい結果を残してくれました。



夢を目指し、日本体育大学合格

「陸上競技が好き」。この気持ちをまっすぐ持ち続けた本校生徒の金村緩芭さんが、日本体育大学に合格を果たしました。金村さんは走り幅跳びを高校3年間頑張り続け、大学でも走り幅跳びをしたい、と日本体育大学への進学を目標としました。実技試験では、得意の跳躍力だけでなく走力や投擲力も問われます。陸上競技部員たちの助けを得ながら、試験まで練習を続けました。試験当日はリラックスし「絶対受かる」という気持ちで、楽しみながら試験を受けたという金村さん。その傍らには、いつも部員を見守り、また、相談に乗ってくれる心強い顧問の先生がいました。金村さんに日本体育大学を勧めたのも顧問の先生です。「将来は全日本選手権に出場したいと思っています。そして、いつかオリンピックで活躍する選手になりたいです」と思いを語ってくれた金村さん。「好き」を貫き通す金村さんの強さ、そして、生徒の「好き」を大切に、伸ばすために尽力する教員たち。生徒たちが生き生きと未来を選ぶ環境はこうにして生まれているのです。



SCHOOL TOPICS [進路実績]

進学

愛知産業大学	大同大学	星城大学	日本体育大学
名古屋文理大学	愛知学院大学	愛知工科大学	中日本自動車短期大学
中京大学	愛知工業大学	朝日大学	豊橋技術科学大学
東海学園大学	愛知淑徳大学	岐阜聖徳学園大学	ELICビジネス&公務員専門学校
南山大学	びわこ成蹊スポーツ大学	京都産業大学	名古屋工学院専門学校
日本福祉大学	名古屋外国語大学	関西国際大学	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
中部大学	名古屋学院大学	大阪体育大学	トヨタ名古屋自動車大学校
人間環境大学	名古屋産業大学	天理大学	名古屋医健スポーツ専門学校

就職

アイカ工業(株)	CKD(株)	トヨタ自動車(株)	(株)パロマ
愛三工業(株)	住友理工(株)	(株)豊田自動織機	三菱電機(株)名古屋製作所
(株)アイシン	大同特殊鋼(株)	トヨタ車体(株)	(株)LIXIL
(株)アイシン福井	(株)デンソー	トヨタ紡績精工(株)	LWTJapan
(株)アドヴィックス	(株)東海理化電機製作所	(株)トヨミ	リンナイ(株)
一般財団法人中部電気保安協会	東海旅客鉄道(株)東海鉄道事業本部	中山工業(株)	
(株)キングコーポレーション	(株)トーエネック中部本部	名古屋鉄道(株)	
(株)三五	豊田合成(株)	ノリタケ(株)	



名古屋たちばな高等学校

通信制課程

TACHIBANA NEWS

令和7年度 卒業生進路状況

4年制・短期大学 合格実績

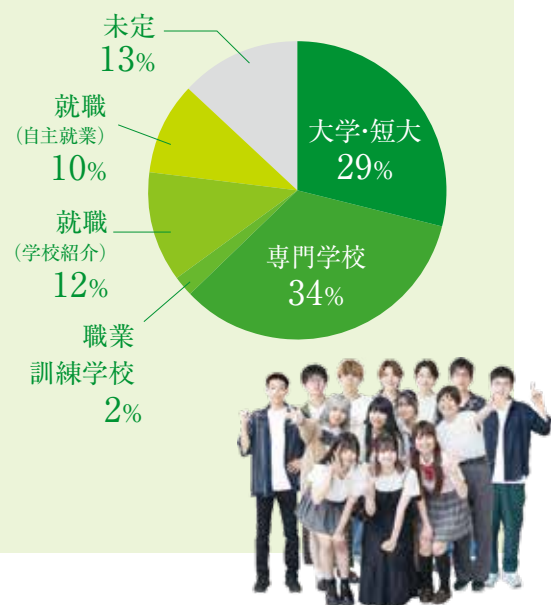
愛知大学	京都橘大学	同志社女子大学
愛知淑徳大学	金城学院大学	同朋大学
愛知東邦大学	修文大学	名古屋葵大学
愛知みずほ大学	相山女学院大学	名古屋学院大学
大阪芸術大学通信制	星城大学	名古屋経済大学
大阪芸術大学	大同大学	名古屋芸術大学
大阪人間科学大学	中京大学	名古屋産業大学
大手前大学通信教育部	中部大学	日本福祉大学
岐阜女子大学	東海学園大学	佛教大学
京都産業大学	東京通信大学	

専門学校 合格実績

ELICビジネス&公務員専門学校
あいち福祉医療専門学校
あいち造形デザイン専門学校
名古屋工学院専門学校
東海工業専門学校
(他多数進学)

主な就職先

株式会社デンソーブラッサム	太田商事株式会社
株式会社テックササキ	三和シャッター工業株式会社
フジパングループ本社株式会社	株式会社ジェイテクトギアシステム
株式会社二友組	株式会社リブマックス



[姉妹校連携事業]

公務員試験対策講座

ELICビジネス&公務員専門学校の協力による公務員試験対策講座。昨年度、道家一真くんが名古屋市職員、刑務官、国家公務員試験の3つの試験に合格し、この春より、航空自衛隊岐阜基地第2補給処業務部補給課在庫管理班調達係に配属されました。道家くんは本校入学時より公務員試験対策講座を受講し、3年間しっかりと学習に打ち込み、見事合格を果たしました。



道家一真くん



ELICビジネス&公務員専門学校の指導が手厚く、夏にELICで行われる集中講義にも参加することができ、専門学生と混ざって競い合いながら公務員試験合格を目指すことができます。今年度も数名の受講者があり、講座終了後の個別指導にも対応いただいています。



講座後の個別指導にも対応

ITスキル養成講座

ELICビジネス&公務員専門学校の協力によるITスキル養成講座として前期はエクセル、後期はワードの講座とC言語プログラミング講座を実施しています。資格取得を目指して毎週ELICの校舎に通い、講座を受講しています。どの資格も合格率は高く、受験した生徒は全員合格しています。



[進路指導]

小論文対策講座

大学年内入試である総合型選抜入試、学校推薦型入試合格に向け、5月から8月までの3か月間、計5回の小論文対策講座を実施しています。講座では小論文の書き方や表現の指導を行っています。講座内で実際にテーマ型の小論文を書き、次回までの課題と併せ講座期間内に9本の小論文を作成しています。各回、専門講師による添削を行い、より良い小論文に近づけるため振り返りを行っています。また、小論文のみならず、講座で学んだ知識が8月より校内で随時行われる志望理由書の作成や面接指導に生かされており、大学合格者が飛躍的に伸びています。



小論文対策講座の様子

オープンカンパニー

就職指導の一環として毎年3月にオープンカンパニー(職場見学)を実施しています。就職指導においてとても難しいのが生徒の職種選択です。製造・物流・サービスなど様々な職場を見学することで職種に対するイメージを持ってもらい、スムーズに就職指導へ繋げていけるよう実施しています。写真は物流倉庫見学時。QRコードを読み取るだけで巨大なタワーから商品を選択、また、縦横無尽に走るロボットが商品を選択するなどSF映画のような光景に魅了されていました。



物流倉庫の見学の様子

[校外研修]

一昨年度から始めた校外研修も今年度で3年目。昨年度はジブリパークと航空自衛隊小牧基地の見学を有志で行いました。今年度は校外学習の場所を4カ所に増やし、場所選択制で全員が参加できるようにします。

航空自衛隊小牧基地見学

輸送機や航空消防隊の見学に加え、今年度は昼食に食堂を利用しました。訓練で鍛え上げられた隊員ばかりと思いきや、自分達と変わらない普通の人たちばかりで生徒の抱いていた自衛隊へのイメージが一変。自衛隊には事務官や整備士など一般職種があることを理解できたようです。配属場所で専門的知識や技能を磨き、試せる場所であることを確認できました。



輸送機の前で記念撮影



上空での給油説明を受ける生徒

ジブリパーク

生徒間の親睦を深める上でも大切な校外研修。いつもと同じ仲間や普段話したことのない生徒同士、また、日曜、午前、午後のコースの垣根を越えて交友を深めることができています。この校外研修を機にコース変更する生徒もいます。通信制高校ではなかなか友達が作れないと言われますが、本校ではそれを払拭するため、コースの垣根を払った体育実技の集中授業や各講座などを通じて充実した高校生活を過ごせるよう工夫しています。



ロボット兵の前で

[社会奉仕活動]

身近な「気づき」を世界への「貢献」に

SDGsの実践報告

本校では「総合的な探究の時間」を軸に、日常の中から社会課題を見つけ出し、主体的に解決する力を養っています。この1年、生徒・保護者・教職員が手を取り合った結果、2つの大きなプロジェクトが実を結びました。

ペットボトルキャップ回収

昨年7月より、「世界の子どもにワクチンを」届けるプロジェクトに学校一丸となって取り組んでまいりました。皆様の温かいご協力により、回収量は29.5kg(ポリオワクチン約15人分相当)に達し、先日無事に納品を終えました。一つひとつは小さなキャップですが、それが積み重なることで「国際貢献」という目に見える成果へと繋がりました。一人ひとりの継続した行動が生んだ、素晴らしい実績です。

使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収

身近なライフスタイルの中からプラスチック削減を目指した「使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル活動」も大きな成果を上げました。この度、本校の社会貢献への取り組みとして「アイシティecoプロジェクト」様の公式ホームページに、協働事例として掲載されることとなりました。自分たちの学びを校内だけに留めず、企業と連携して社会へ発信していく。本校が推進する「生きた教育」が、広く社会に認められた証となりました。

アイシティ
本校掲載ページ



三河高等学校 全日制課程 06



次のステージへ

「#三河変わった」をテーマに入試広報を立ち上げてから3年。

学校改革を進める中で、体験入学会の来場者は約700名から3,000名超へと大きく伸長し、学校への評価も大きく高まりました。今年度は、その改革の完成段階。

完成段階にふさわしく、DXハイスクールにも採択されました。

これまでの成果を確かな価値へと高め、生徒・保護者・社会からより信頼され、選ばれ続ける学校へと進化していきます。

[新しい取り組み]

制服のリニューアルについて

令和8年度入学生より本校の制服を一新しました。令和6年度よりプロジェクトチームを立ち上げ、業者の選定を含め、様々な検討を行ってきました。前回採用した制服の良いところや伝統をそのまま活かし、着心地のよさや洗いやすさなど、生徒や保護者の意見を取り入れながら、よりよい制服を追求してきました。また、オプションにも力を入れ、暑さ対策に特化したハーフパンツやポロシャツ、着用のバリエーションを楽しめるカーディガンやセーター、さらには県内ではほとんど採用されていないパーカーも導入することで他校との差別化を図り、特に女子生徒の評判は上々です。同時に体操服もリニューアルされ、今、原山のキャンパスには新しい風が吹いています。



新たな挑戦 チーム担任制がスタート

本校では、生徒一人ひとりをより丁寧に支援するため、令和8年度入学の1学年から「チーム担任制」を導入しました。「チーム担任制」は、クラスごとに担任を固定するのではなく、同じ学年の教員がチームとして協力しながら、生徒の学校生活や学習、進路選択を支援していくものです。「チーム担任制」を導入するに至った背景は、精神的な不安を抱えたまま、上手く学校生活に馴染めず、退学や不登校に至る生徒が増える傾向があったことです。現状を変えるべく、検討した結果、「チーム担任制」を導入することになりました。このしくみを導入することで、生徒一人ひとりの様子を多面的に把握することができ、よりきめ細かな指導や支援につなげることができます。また、生徒だけでなく、保護者の方々への対応もより充実させることができると考えています。導入初年度は、さまざまな課題への対応が必要となりますが、新しい試みを通じて、教員側もレベルアップのチャンスとなります。「三河がさらに変わる」、その一歩として、学校を挙げて取り組んでまいります。

[学科紹介]

普通科

近年、大学入試と資格検定の取得は切っても切れない関係となっています。特に推薦入試において、英語検定や漢字検定が満点換算や加算対象となるため、今まで以上に資格取得を奨励し、I類・II類対象の資格対策講座も充実させています。また学校として教育活動の充実を図り、生徒自身の価値を効果的に高められるように、科学的エビデンスや三河高校の統計データに基づいて制度設計を考え、様々な教育政策に取り組んでいます。その甲斐もあり、昨年度は英検準1級に6名、1級に1名、また国立大学では名古屋大学医学部に1名、愛知教育大学に3名の生徒が合格しました。



野末 栞菜
・名古屋大学医学部合格
・英検準1級取得
・水泳部インターハイ出場



英検準1級合格生徒と英語科教員「英語三銃士」

電気科

電気科では国家資格である「第二種電気工事士」合格に向け、1年生の入学直後から日々授業に補習に励んできました。合格後は、第一種電気工事士、そして第三種電気主任技術者試験合格に向け、意欲的に取り組んでおります。国家資格取得を足掛かりに、電気の基礎から応用まで理解を深め、進路実現に向け邁進しております。国家資格の結果は以下の通りです。



第一種電気工事士 令和7年度上期合格者

第三種電気主任技術者試験

年間4名合格《上期全国5位》

令和7年度、一般の受験者も含め全国合格率は上期12.9%、下期13.1%、高校生にとっては難関国家資格です。その難関国家資格である第三種電気主任技術者に上期1名、下期3名が合格しました。在学中に3年生の7名が合格し、2年生でも1名の合格がありました。これにより電気科在学中の合格者累計が179名となりました。

第一種電気工事士試験

令和7年度上期第一種電気工事士11名(県内1位、全国9位)、下期第一種電気工事士26名(県内2位、全国4位)、年間合格37名は県内3位、全国4位(全国ランキングは電気書院調べ)

情報処理科

テクノロジーの進化が加速する現代において、社会から最も求められているのは「DX(デジタルトランスフォーメーション)を担う人材」です。情報処理科は、まさにその未来の主役を育てる場所です。

情報処理科の強みは、高校から初めて学ぶ生徒でも着実にステップアップできる確かな指導体制にあります。令和7年度には、国家試験であるITパスポートに17名、基本情報技術者に2名が合格。この高い実績を支えるのが、2年次から始まるコース制です。上級資格に挑むクラスと、基礎を固めて資格取得を目指すクラスが用意されており、自分に最適な環境で日々の授業や補習に打ち込みます。充実した実習室など、ハード・ソフト両面でのサポートも万全です。

卒業後の進路は、約6割の生徒が大学や専門学校へ進学し、さらなる専門性を追求します。また、DX人材の需要急増に伴い、就職における企業からの期待と求人も年々高まっています。

さらに、令和8年度からは「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」の採択校として新たなステージへ進化します。愛知産業大学との連携による最先端のデジタルカリキュラムの導入や、企業と協働した「AIを活用したプロダクト企画」など、実践的なプロジェクトが始動。学校の枠を超えリアルな学びを通じて、高度情報社会をリードする即戦力を育成します。



[生徒の活躍]

就職実績

学校幹旋内定者16年連続100%達成

令和7年度の就職者は133名(学年全体の38%)であり、全員の就職先が決定しました。3学年団と就職指導室が一体となり、外部講師による職業講話や面接指導などを行い、就職希望者に対し早期から進路指導をしてきた成果と考えます。生徒・保護者からの人気が高い、トヨタグループへの採用が決定した生徒は、トヨタ自動車(株)の14名をはじめ、7社34名に上りました。また、公務員には岡崎市職員(事務)をはじめ、自衛隊に3名の生徒が合格しました。一昨年度からは、新たに「Handy進路指導室」を導入したことで、生徒・保護者がパソコンやスマートフォンを利用して、家庭でも求人票の閲覧ができるようになりました。進路決定のために必要な情報が入手しやすくなったことで、より良い選択ができる環境が整いました。



剣道部

男女アベックでの全国大会出場

本校剣道部は、競技力の向上だけでなく、「人として成長すること」を大切に日々活動してきました。礼節や感謝の心、仲間を思いやる姿勢を徹底指導し、苦しい場面でも前向きに挑戦し続ける力を育んでいます。その積み重ねが実を結び、創部初となる男女アベックでの全国大会出場を達成することができました。この成果は、選手たちの努力はもちろん、多くの方々に支えられ、応援されるチームであり続けた結果だと感じています。今後も競技成績だけでなく、社会に出て信頼され、周囲から応援される人間の育成を目指してまいります。



陸上競技部

19年ぶりの全国高校総体出場

「全力尽くして頂点目指せ」は、本校陸上競技部の横断幕に記載されている言葉です。陸上競技部としては19年ぶりに、男子100m・200mで令和7年度全国高校総体への出場を果たしました。さらに、U20日本選手権へも出場し、スプリント種目において全国大会でその存在感を示すことができました。横断幕の言葉の本質とは、「自分が持っている力をすべて注ぎ、成せる限り努力する」であると捉え、陸上競技のみならず、学習面、生活面すべてにおいて徹底した指導を展開するとともに、競技力・人間力向上に努めます。本校を代表する部活動となれるよう、全力を尽くし、頂点を目指します。



三河高等学校 通信制課程 07



剣道・卓球 全国大会出場

令和7年8月に行われた全国高等学校定時制通信制体育大会に、本校から2名の生徒が出場しました。

日本武道館で開催された剣道大会には、当時3年次の藤原柳さんが出場しました。個人戦では3回戦進出を果たし、県代表としての団体戦では惜しくも予選リーグ敗退となりましたが、キャプテンとしてチームをまとめながら健闘しました。

また、駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された卓球大会には、当時1年次の寺林玲さんが出場し、こちらも個人戦で3回戦進出という成績を収めました。

本校は高体連に加盟しており、高体連主催の大会に出場可能です。寺林さんは今年度も全国大会進出を目指し、練習に励んでいます。今後も、本校生徒のさらなる活躍が期待されます。

保健室拡充

令和7年度、専任の養護教諭の着任に合わせ、保健室の設備を一新しました。体調不良や、落ち着いて休みたいときなど、さまざまな場面で活用されています。



校外学習 好評

本校では、令和6年度より校外学習を実施しています。大変好評を得ており、令和7年度はさらに規模を拡大して実施しました。

令和7年度は、竹島水族館&BBQ(蒲郡市)、ナガシマスパーランド(三重県桑名市)、名古屋港水族館(名古屋市)などを訪れ、多くの生徒が参加しました。活動を通して、生徒同士の交友関係を深める機会となったほか、友達同士で協力しながら行動することで、集団生活に必要な協調性や社会性を養う場にもなりました。

令和8年度は、さらに遠方での校外学習を予定しています。今後も、多くの生徒に多様な経験や学びの機会を提供できるよう、尽力してまいります。



特別活動を通じた生徒間交流体験の実施

本校には、不登校を経験した生徒が多く在籍しています。近年、「同じ経験を持つ仲間と交流したい」「友達をつくりたい」という声が多く寄せられたことから、令和8年度より、特別活動の一環で、生徒同士が安心して交流できる場を設けています。

令和8年度前期は、ボッチャ・モルック、人生ゲームを行いました。多くの新入生が参加し、互いに声を掛け合いながら、楽しい時間を過ごしました。活動終了後には連絡先を交換する様子も見られ、生徒同士の新たなつながりを築く良い機会となったようです。

交友関係を広げることは、生徒がこれまで一人で抱え込んでいた悩みや課題について、周囲と支え合いながら向き合うきっかけになります。今後も継続して生徒同士が交流する場を設け、卒業後を見据えた成長を支援してまいります。

令和7年度卒業記念品 自習机等寄贈

令和7年度卒業生より、卒業記念品として、自習用机・椅子、机用ライト、書籍棚等をご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

本校では、どの生徒も気軽に勉強に取り組めるよう、自習スペースを設置しております。今回のご寄贈により、自習スペースがさらに充実し、生徒が主体的に学習に取り組みやすくなりました。

卒業生の皆様からの温かいご支援に感謝するとともに、今後も、生徒一人ひとりの学びを支える教育環境の充実に努めてまいります。



TOPICS [令和7年度卒業生 主な進路状況]

主な進学実績

愛知大学	東海学園大学	愛知バット専門学校
愛知学院大学	豊橋創造大学	ELICビジネス&公務員専門学校
愛知工科大学	名古屋学芸大学	中日美容専門学校
愛知産業大学	名古屋芸術大学	中部美容専門学校
愛知東邦大学	名古屋商科大学	辻調理師専門学校
愛知みずほ大学	南山大学	名古屋工学院専門学校
相山女子学園大学	日本福祉大学	名古屋調理師専門学校
大同大学	人間環境大学	三河歯科衛生専門学校 等
中京大学	名城大学	
中部大学	愛知学泉短期大学	

主な就職先

アイチ梱包運輸(株)	(医)啓仁会
(株)葵製茶	(株)IC's電設
(株)浅賀井製作所	新英金属(株)
(株)アステア	シンフォニア商事(株)
(株)旭工業所	西澤整形外科クリニック
(医)栄光会	日本ロード・メンテナンス(株)
SWCC(株)	(株)丹羽鉄工所
(株)エム・ティ・エス	ヤマト運輸(株)
キムラユニティー(株)	陸上自衛隊
クックマート(株)	(医)米津会 等

08



徹底的によりそう指導で、
希望の進路に結び付ける。

ELICビジネス& 公務員専門学校

ITスキル科／公務員科／短期公務員科

昭和53年4月開校
校長 森 登志男
教務部長 木村 公一
指導部長 加藤 佳明
事務長 梅村 浩司
学生数 328名
教職員数 教員13名、非常勤講師25名、職員3名

[学科・募集定員]

- ◎ITスキル科 2年:100名
 - 情報処理コース
 - 医療事務・情報ビジネスコース
 - マネジメントコース(留学生)

◎公務員科 2年:60名

◎短期公務員科 1年:40名

[アクセス]

「金山総合駅」南口より徒歩5分

[所在地]

〒456-0018 愛知県名古屋市熱田区新尾頭1-12-10
TEL 052-683-0035
<https://www.elic.jp/>



ホームページ



Facebook



Instagram

09



幅広い知識と技術をしっかり学ぶ。
心ゆたかな歯科衛生士を目指す。

三河歯科衛生 専門学校

歯科衛生士科

平成9年4月開校
校長 丸山 健
教務部長 川上 理永
事務長 鈴木 利充
学生数 94名
教職員数 教員5名、非常勤講師33名、職員2名

[学科・募集定員]

◎歯科衛生士科 3年:40名

[アクセス]

名鉄名古屋本線「藤川駅」より徒歩10分、
「藤川駅」へは、「名鉄名古屋駅」より45分、「豊橋駅」より30分

[所在地]

〒444-0005 愛知県岡崎市岡町原山12-130
TEL 0564-48-6680
<https://mikawa-dental.ac.jp/>



ホームページ



Facebook



Instagram

10



SMILE AND SPIRIT
想像以上の自分に会いに。

名古屋美容 専門学校

美容学科

平成11年4月開校
校長 垣本 勝三
事務長 梅村 浩司
学生数 312名
教職員数 教員14名、非常勤講師7名、職員3名

[学科・募集定員]

- ◎美容学科 2年:160名
 - トピスタイリストコース
 - サロンディレクターコース
 - ヘアクリエイターコース
 - ヘアメイクアーティストコース
 - ヘアプランナーコース

[アクセス]

「金山総合駅」南口より徒歩1分

[所在地]

〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-8-10
TEL 052-678-3911
<https://www.nagoyabiyo.ac.jp>



ホームページ



Facebook



Instagram



ELICビジネス& 公務員専門学校

08



[公務員科・短期公務員科]

公務員科・短期公務員科では、本年度も最終合格率(＝公務員になって活躍している割合)が90.3%と、《2年連続90%超え》を達成しました。これは、愛知県下の公務員専門学校の中でもトップクラスの割合だと自負しています。

本校オリジナルの公務員試験指導は《ELICメソッド》と呼ばれ、現在の公務員試験に完全に対応しています。どんな学力でも、どんなにコミュニケーションが苦手でも、本校のメソッドでしっかり学習すれば公務員という職業が手に入ります。国家公務員事務職・税務職員・地方公務員事務職・警察・消防・国家公務員公安職など「自分がなりたい職業」にしっかりなれる、それがELICの公務員科・短期公務員科です。



[医療事務・情報ビジネスコース]

新カリキュラム「社会人常識」の授業の中で、就職活動や社会に出てから役立つ「自分磨き」について学んでいます。

ヘアメイクの授業では、自分に似合う色を知る「パーソナルカラー」を学び、第一印象をより良く見せるポイントを身につけました。また、6月には資生堂様によるオンラインセミナーで、就職活動に向けた「フレッシューズセミナー」を実施。このセミナーは、社会人としての身だしなみや好印象を与えるメイクについて学び、就職活動に必要な知識を得ることを目的としています。さらに後期からは、ネイリストの先生による授業もスタート予定です。手元を美しく見せるケアやマナーを学び、細かな部分まで気を配れる社会人を目指します。



[情報処理コース]

学生がつまづきやすい「わからない」「できない」を放置せず、理解できるまで丁寧に寄り添う指導を徹底しています。

基本情報技術者試験の合格から逆算したカリキュラムに基づき、基礎の定着から応用力の育成まで段階的にサポートし繰り返し学ぶことで自信が生まれ、「がんばる」「続ける」という主体的な学習姿勢が育ちます。学校の授業だけでは補いきれない部分を補強し、情報分野への興味や将来の進路選択にもつながる力を養成。確かな理解と継続的な成長が、多くの合格者を生み出しています。



[マネジメントコース]

社会で役立つ資格取得を目指して、日々学んでいます。電卓検定やPCスキルの習得はもちろん、特に「日本語能力試験(JLPT)」に力を入れており、N2・N1合格を目指して頑張っています!

試験に直結する文字・語彙、文法、読解、聴解の各分野をバランスよく網羅。ただ答えを導くだけでなく、本番を見据えて時間を計りながら解くことで、実践的な時間配分の意識も身につけさせます。授業は学生の理解度を一歩ずつ確認しながら丁寧に進めるため、疑問を残しません。さらに、毎回の宿題や小テストを通じて、授業外でも自主的に学ぶ「自宅学習の習慣化」を徹底サポート。確かな実力と、ビジネスの現場で通用する日本語力の土台を築きます。



資格取得実績

情報処理コース

目標達成に向けて努力を重ね、国家試験の難関資格を取得！
日々の授業や自主学習の成果が実を結びました。

本校の学生が、情報処理推進機構（IPA）が実施する国家試験「応用情報技術者試験」に合格しました。（応用情報技術者試験は、IT分野の高度な知識と実践的な問題解決能力が求められる難関試験で、例年の合格率は20～30%程度。）

応用情報技術者試験の合格に向けて努力することはもちろん、他の検定資格の勉強にも手を抜かず、学校で取得できる資格をすべて取得してELICを卒業した高橋さん。分からないことは先生に質問し、教わった内容を踏まえてもう一度解き直すことで、自分の理解を深めながら知識を増やしていく勉強法で、難関資格を取得しました！



医療事務・情報ビジネスコース

資格取得にも挑戦！努力の成果が形になる

日々の授業や検定対策を通して、さまざまな資格取得に挑戦しています。電卓検定で4段・5段を取得するなど、高いレベルの資格試験にも合格しました。また、一般用医薬品の販売に必要な国家資格である医薬品登録販売者にも多数の学生が合格し、専門知識を身につけました。一人ひとりが目標に向かって努力を重ね、着実に力を伸ばしています。



マネジメントコース

2年間の目標としていたJLPT（日本語能力試験）N1合格！

2025年12月の日本語能力試験（JLPT）N1の全国合格率は約29.8%。そのため、合格は決して容易なことではありません。また、留学生は学業とアルバイトを両立しているため毎日忙しく、自宅で十分な勉強時間を確保することも難しい状況です。そのような中、学生たちは授業に集中して取り組むことを常に意識し、日々の学習に真摯に励んできました。その結果、25年度卒の学生5名が見事N1に合格することができました。難関試験を突破した学生たちの努力と成果は、本校にとって大きな誇りです。



大学3年次編入

本校では、専門分野を学んだあとに大学3年次へ編入し、さらに学びを深める学生も多数！

金城学院大学をはじめ、姉妹校である愛知産業大学などへの大学3年次編入学を支援し、多数の実績を上げています。専門学校で身につけた知識や資格を活かしながら、大学でより高度な学びに挑戦できることは、大きな魅力のひとつです。「専門学校で実践力を身につける」・「大学でさらに専門性を深める」そんな自分らしい進路選択ができる環境が整っています。



TOEIC Listening & Reading Test

ITスキル科情報処理コース・マネジメントコースの学生がTOEIC L&Rでハイスコアを取得！

キャリアを切り拓く一生モノの武器。2人とも胸を張れるスコアです！TOEICで高いスコアを取得することは、英語力の証明になるだけでなく、就職活動や将来の可能性を大きく広げる力になります。この経験と自信を武器に、今まで以上に大きく羽ばたいてくれることを願っています！



就職状況

〔公務員〕

「事務系・技術系」公務員に強いELIC。本年度最終合格した学生のうち70%以上が事務系・技術系の職種で採用内定をいただきました。また、その他公安系の消防職についても、毎年コンスタントに最終合格を勝ち取り、消防士として活躍する学生も増えてきました。夢をかなえた学生たちが自分らしく活躍してくれることを期待しています。



〔情報処理〕

優しく友人から頼りにされる性格で、学習に対してもコツコツと努力する学生が、目標とする基本情報技術者試験に合格し、製造、医療、サービス業、社会インフラに関わるシステム開発を手掛ける「株式会社TMソリューション」に内定をいただきました。また、明るく元気な性格で、本校のオープンキャンパスのスタッフとしても活躍してくれた学生は、持ち前のコミュニケーション能力を発揮し、システム開発からWeb制作やキャリアコンサルタント事業を手掛ける「株式会社パレットリンク」に内定しました。二人の今後の活躍にも期待しています。



各分野で活躍する卒業生からひと言いただきました！

公務員

ELICは先生との距離が近く、LINEでの志望動機の添削や、試験前夜の不安な相談にも即座に対応していただきました。その親身な支えがあったからこそ、今の私があります。将来は犬山をより住みやすく、活気ある街にしていきたいです。



公務員科卒業
水野さん〔市職員〕
（犬山市役所勤務）

メディカルアシスタント

ELICでは多くの資格を取得でき、特に医師事務作業補助の資格は今の仕事に役立っています。ELICの学びのおかげで最後まで諦めず取り組む力が身につきました。これからも仕事を通してもっと信頼される存在を目指していきたいです。



ITスキル科 医療事務・情報ビジネスコース卒業
川瀬さん〔メディカルアシスタント〕
（さくら総合病院勤務）

プログラマ

入学した時からプログラミングを仕事にしたいと考えており、先生方の手厚いサポートのおかげで複数社から内定をいただきました。現在は企業向けアプリの開発を担当しており、特定顧客向けの対応ではユーザーが直接触れる部分も任されているため、やり遂げたときの達成感は大きいです。



ITスキル科 情報処理コース卒業
宮脇さん〔プログラマ〕
（株式会社テクノプロテクノプロ・IT社勤務）

販売スタッフ

ELICで学んだビジネスマナーは、今の仕事でとても役に立っています。お客様と接するときの態度や言葉遣い、相手への敬意の示し方など、アルバイトだけでは学べなかった知識を身につけることができました。これからも、お客様の力になれるよう努力していきたいです。



ITスキル科 マネジメントコース卒業
スミタさん〔携帯販売スタッフ〕
（株式会社ベジコップ勤務）

NEWS

書棚設置

学生の学びや視野を広げるきっかけとして、
校内に「教職員推薦図書コーナー」を設置しました！

教職員が「ぜひ読んでほしい」と感じた本を、それぞれの推薦コメントとともに並べています。専門分野の理解を深める本はもちろん、小説、漫画、雑誌など、気軽に手に取りやすいものまで幅広く揃えました。普段は選ばないジャンルの本との出会いが、新しい興味や発見につながるきっかけになればと思います。これからたくさん本を増やしていく予定です！



三河歯科衛生専門学校 09



国家試験 6年連続合格率100%達成

国家試験に備えた集中学習で高い合格率を維持

学生指導とともに、国家試験対策についても経験豊富な教員による指導により、例年高い国家試験合格率を維持しています。指導の一部として、全国レベルで実力を把握できる年6回の全国統一模擬試験や苦手科目を克服するために年12回の模擬試験を受験するほか、ペーパー対策だけでなく、複数教員による口頭試問を行い、知識の定着を目指します。また冬期からは学生の力に応じて学習する習得別学習を集中して行い、実力に合わせた無理のないペースで国家試験に合格できる力を身につけます。

□ 歯科衛生士国家試験合格率

年度	本校	全国平均
令和7年度	100%	94.5%
令和6年度	100%	91.0%
令和5年度	100%	92.4%
令和4年度	100%	93.0%
令和3年度	100%	95.6%



食育実習

食をとおして体全体の健康を考えられる歯科衛生士に

食事に欠かせない大切な歯。噛むことにより、心の発達、体の健康へとつながります。そこで注目ののが「食育」。おいしく食べられる歯の健康を学び、調理実習で、こころとからだの健康を考えながら、歯科衛生士としての保健指導力と家庭での健やかな食生活のあり方を身につけます。



食育実習

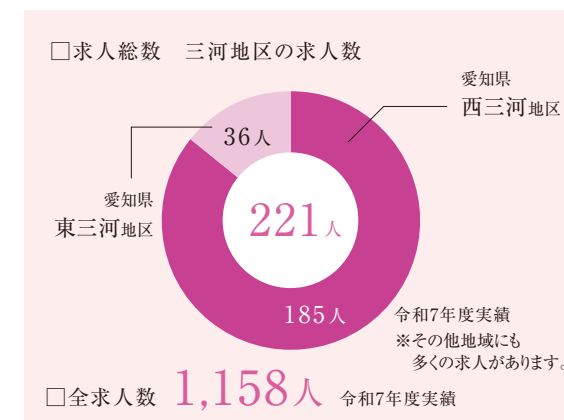
就職サポート

求人倍率約32倍

学生の個性を見極めた就職指導

履歴書作成から面接指導、個別面談を行うなど、安心して採用試験に臨めるよう就職活動のスキルをしっかりと指導します。

学生数を大きく上回る求人のなかから希望する歯科医院への就職を目指します。



専門実践教育訓練 給付金制度

専門実践教育訓練給付金制度とは、働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とした雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者が、本校に自己負担で入学した際に、入学金・授業料など実際に必要となる経費の一部を給付金として受け取れます。詳しくは、厚生労働省やハローワークのサイトを参照してください。(令和7年度実績/3年生:6名/2年生:2名/1年生:2名が制度利用)

学生の声

歯科助手時代、患者様からの質問にすぐ答えられず、自分の知識不足が悔しかったことが再進学の原因です。実習に来ていた当校の学生の礼儀正しく学習意欲も高い姿を見て、ここで仲間と切磋琢磨しながら成長したいと強く感じ入学しました。現在は時間を有効に使いアルバイトと両立しながら、患者様に安心していただける説明ができるプロを目指して日々学んでいます。

山浦 礼夢さん(2年生)



イベント報告

きらきら☆フェスタ

子育てファミリーきらきら☆フェスタ in 原山祭に歯科医師・歯科衛生士の仕事体験ワークショップとして昨年に引き続き2回目の参加をしました。

歯科医院の体験として、歯科ユニット・歯科材料に触れてもらい口腔ケア体験・歯型採取を体験してもらい歯科衛生士の職業認知度アップに繋がられるように実施しました。



社会福祉施設歯科健診及び交流会

3回目の実施となった本校で行われた歯科健診イベント。前半は、岡崎市歯科医師会および岡崎市歯科衛生士会の方々による歯科健診が行われ、本校学生は補助として参加しながら、障がい者歯科医療の現場における対応の難しさや配慮について学びを深めました。後半は、本校講堂にてふれあいイベントを開催し、参加者との交流を通じて、医療人としての対人理解や支援の姿勢を体験的に学ぶ機会となりました。



カリキュラム紹介

歯科診療補助Ⅱ(介護実習・ホワイトニング)

介護実習では、歯科衛生士としての必要な介護の知識を理論と実践を通して学ぶ

特に高齢者・障がい者・障がい児に対する歯科診療補助に必要な介護実技は、健常者以上に技術を要する“ホワイトニング”の体験・実習にて基礎知識を習得します。



臨地実習(介護老人保健施設・幼稚園・小学校)

歯科衛生士の主な仕事の一つである歯科保健指導

専門的な立場から助言や援助を行います。工夫を凝らした媒体を作成し介護老人保健施設では、口腔機能向上のトレーニング法を、幼稚園・小学生では歯磨き法などを指導しました。



行事紹介

臨床式

今後の臨床実習に向けた準備の一環として、2年生20名にて臨床式を実施しました。学生は臨床現場を意識した服装と所作で臨み、専門職としての自覚を新たにできる機会となりました。本式を通じて、実習への心構えと責任感を一層高めることができました。

研修旅行(3年生)

国家試験対策が本格化する前の貴重な機会として、2泊3日の研修旅行を実施しました。3日間とも、東京ディズニーリゾートを満喫しクラスメイトとの親睦を深めながら、心身ともにリフレッシュする有意義な時間となりました。今後の試験勉強に向けて、良いリスタートとなる研修旅行となりました。

合同レクリエーション(1～3年生)

5月に全学年を対象としたボウリング大会を岡崎グランドボウルにて実施し、11月には1・2年生が犬山城下町を満喫し、親睦を深める有意義な行事となりました。



Interview

卒業生の紹介

[勤務先]ほらまち近藤歯科

藤堂 早矢加さん(2018年度卒)



歯科衛生士を目指したきっかけ

高校時代に友人から「一緒に目指そう!」と誘われたことがきっかけです。幼い頃から定期検診で通っていた歯科医院の歯科衛生士さんがとても優しく、また、手に職をつけて長く働ける職業であることにも魅力を感じました。

三河歯科衛生専門学校を選んだ理由は、国家試験の合格率高く、少人数制で基礎からしっかり学べる環境が整っていたからです。先生との距離が近く、分からないことをすぐに相談できる環境にも安心感がありました。



この資格を取得したことで、より質の高い歯周治療や予防処置を提供できるようになり、患者さん一人ひとりの状態に合わせたセルフケア指導や長期的な口腔内管理を通して、より寄り添ったサポートができるようになりました。

また、日々の症例をまとめることは業務の振り返りにもなり、自分自身の成長や自信にもつながっています。

この仕事は、患者さんから直接「ありがとう」「頑張って治療してよかった」と言っていたけことがあり、そのような時に大きなやりがいを感じます。患者さんと長く関わる中で信頼関係を築き、お口の健康状態が改善・維持されていく変化と一緒に喜べることは、この仕事ならではの魅力です。

—— 今後の目標や夢は

患者さん一人ひとりに寄り添い、その方に合ったセルフケアの提案やモチベーションを引き出せる歯科衛生士であり続けることです。

常に新しい知識や技術を学び続ける姿勢を大切にしながら、歯周病に関する専門性をさらに深め、地域の方々へ予防の大切さを伝えていきたいと考えています。

—— 歯科衛生士を目指す皆さんへ

最初は不安なことも多いと思いますが、一つひとつの経験が必ず力になります。仲間や先生を頼りながら、自分のペースで成長していきましょう。

歯科衛生士は、患者さんと長く関わり、その変化と一緒に喜ぶことができる、とてもやりがいのある仕事です。

皆さんの夢を応援しています。



—— 学生時代について

入学当初は、専門的な知識や技術を本当に身につけられるのか不安でした。実習では、患者さんとのコミュニケーションや医療従事者としての責任の重さに悩むこともありました。

しかし、三河歯科衛生専門学校は先生との距離が近く、分からないことはすぐに相談できる環境だったため、くじけそうな時も親身になって支えてくださる先生方や切磋琢磨できる仲間に励まされました。繰り返し練習を重ねることで、少しずつ自信をつけることができました。

—— 現在の仕事について

「歯周病認定歯科衛生士」は、歯周病に関する専門的な知識や技術を持ち、一定の臨床経験や症例報告などの厳しい基準を満たした歯科衛生士のみに与えられる、日本歯周病学会認定の資格です。

歯周治療や予防処置を高いレベルで行うだけでなく、患者さんの口腔内を長期的に管理し、健康を維持していく役割も担います。また、常に新しい知識や技術を学び続ける姿勢が求められる、専門性の高い資格です。

名古屋美容専門学校

10

ひかりの方へ、顔を上げて。

光はきっと、挑戦し続ける人の中にある。
自分の感性で未来を描く力を、ここで育てたい。
名古屋美容専門学校は、その光を照らし、
美容師として未来を導く学校です。

今年も全国平均を大きく上回る 高い国家試験合格率を達成しました。

名美のカリキュラムが実現する高い合格率

名古屋美容の専任教員は、国家試験研修センターから直接、傾向と対策の指導を受けています。国家試験前は、実技・学科とも国家試験講習を実施。国家試験全員合格に向けて先生が学生一人ひとりを丁寧に指導しており、クラスでも団体競技のような熱いムードがあるので大きな自信につながります。

令和8年3月卒業生 美容師国家試験

合格率 **97.9%**

受験者144名/合格者141名 全国平均(87.0%)



美容師に特化したカリキュラムで、売れる美容師を目指します。

美容師育成に特化したカリキュラム

カットやカラー、パーマなど美容師に特化した科目に加えて、メイクやネイル、まつエクなどのプラスαの技術が学べる全12科目から5つのコース編成で売れる美容師を目指します。1年次から国家試験技術に留まらず、トップスタイリストになるためのヘアデザインやブリーチカラーが学べるカリキュラムが充実。2年次は5つの選択コースから自分に合った科目を選択して、自身のなりたい美容師像を極めます。学生の個性を尊重した教育方針で唯一無二の美容師を目指します。



サロンクリエイション

名美だからこそこの豪華な人気サロンのスタイリストが講師となり、作品撮りやデザイン、カット、ヘアアレンジについてのクリエイションを学びます。加えて若者に人気のブリーチカラーを最大手シュワルツコフから学び、修了後はディプロマが授与されます。

【講師サロン】

JURK、wit、teto hair、in chelsea、'AXIS、ICI、BUDDY HAIR、LA PENSEE、GRIFICA、YENN、BLANCO、CLEAR of hair、snuw、CLENN、arte HAIR、sisu



トレンドライフ

美容スキルだけでなく、誰にも真似できない自分だけの感性や表現力を身に付ける授業。自身のセルフブランディングを高めるとともにSNSや一眼レフカメラでの撮影、動画編集、ファッション、カルチャー、流行など、技術だけでなく時代を選ばれる美容師になるための感性を磨きます。



コンテスト実績が証明する技術力&指導力

理美容甲子園東海地区大会 美容3部門で金賞。

理美容甲子園とは、全国理美容学生技術大会の愛称。美容学生の技術の向上を目指すための場として、日本理美容教育センターが開催する全国最大規模の学生大会です。名古屋美容専門学校は東海地区大会で美容3部門の金賞を受賞。今年も参加校最多の20名が入賞という快挙を成し遂げました。



努力と涙で掴んだ
20個のクリスタル。

各種コンテストの入賞者

STYLINGCOLLECTION 2025

[ワインディング部門]

- 2位／大塚 来実
- 入賞／小池 月乃、山内 めい、小島 悠暉

[カット部門]

- 1位／増成 柊太
- 2位／渡邊 涼

[モデルデザイン]

- 2位／田中 姫愛、岩崎 虹架、内藤 麗
- 3位／浅見 奈々葉、大脇 望花、塚本 唯奈、山田 莉咲帆

JUHA JAPON festival 2025

[ワインディング マイスター部門]

- ゴールド／松岡 彩禾

三都杯2025

[ウィッグデザイン]

- 3位／大藪 琴音

2025美容技術研究団体月曜会 ヘアコンクール

[ロッド巻き(オールパーパス)学生]

- 入賞／松岡 彩禾

ヘアショーで発揮される、 個性&表現力。

BEAUTY EXPO

初開催は、2005年「愛・地球博」の特設ステージ。それから毎年、後輩たちに受け継がれてきた名古屋美容の美と情熱の祭典となるヘアショー。クラスごとにヘアメイク、衣装、映像、音響、照明に至る、すべてを学生自らが作りあげます。技術力、創造力、企画力、そして何よりチームワークが試される渾身のパフォーマンスは毎年、観る人たちの心を魅了します。

CHUBU HAIRSTYLE AWARD 2025



グランプリ
ベストセレクション賞
大藪 琴音



3位
渡邊 涼



8位
宮田 大暉



準グランプリ
畠山 珠羽

名古屋を代表する
人気サロンとの産学連携。
多くのコンテストで
優秀賞を受賞。



サロン賞
古川 耕己



サロン賞
崎間 愛星



サロン特別賞
田中 真穂



優秀賞
榊原 夏希

Designers Award 2025

学生の満足度を高める多くのイベント。

ここでの毎日が、きっと生涯忘れられない
日々になります。

なぜ、名古屋美容はイベントが多いのか。その理由は、人間力育成を柱とした教育方針にあります。同じ夢をもった仲間同士が力を合わせ、イベントを成功に導くプロセスそのものに多くの感動と学びがあります。学生たちは協調性や創造力を養い、エンターテインメント性を発揮して、充実した2年間を過ごしています。

ハロウィン学校祭



ヘアフェスタ

名美最大の学内コンテスト。一人ひとりが学びの集大成を発揮する場。ヘアフェスタは、毎年数多くの来場者を迎え、技術と感性を競い合う名古屋美容で最も盛大な学内コンテストです。



島田幼稚園

11



一人ひとりが輝いて 一人ひとりの「島田」

昭和45年4月開園
園長 齋藤 小世子
副園長 森川 美穂
事務長 戸崎 博文
園児数 241名(男:131名、女:110名)
教職員数 教員:19名・非常勤教員:7名、
職員: 2名・非常勤職員:5名

募集定員
満3歳児:25名(男・女)、3歳児:100名(男・女)、
4歳児:15名(男・女)、5歳児:若干名(男・女)

アクセス
市バス「おね荘」バス停留所より徒歩1分

所在地
〒468-0028
愛知県名古屋市中天白区島田黒石507番地
TEL:052-802-5256
<http://www.shimadayouchien.jp/>



ホームページ

満3歳クラス

にこにこ笑顔!はじめてがいっぱいの満3歳クラス

満3歳クラスでは、お家の方と初めて離れて過ごす幼稚園生活の中で、「幼稚園って楽しい!」と感じられることを大切にしています。先生とのたくさんコミュニケーションやふれあいを通して安心して過ごしながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、みんなで食べる給食のおいしさを感じていきます。また、身支度なども一人ひとりのペースに合わせて少しずつ自分でできるようにし、「やってみよう!」という気持ちを育んでいきます。



年少組

どきどき!わくわく!笑顔いっぱい!の年少組

初めての集団生活で、期待と不安がいっぱいの子どもたち。安心して園生活を送れるよう信頼関係を築きながら、基本的生活習慣を身につけていきます。そして、いろいろな遊びや活動に取り組む中で、自分を発揮し、先生や友だちとの関わりを楽しみ、自分の思いや感じたことを相手に言葉で伝える力を育みます。また、さまざまな素材に触れる感覚あそびを通して五感で学び、好奇心や探求心を広げています。



年中組

やさしい!たのしい!だいすき!年中組

年中組になり1つ大きくなった喜びを感じ、新しい環境に慣れて、楽しく過ごす姿が見られます。遊びや集団での活動を通して、表現することや身体を動かすことを楽しみ、保育者や友だちとの関わりを深めていきます。今年度は楽器遊びを通して、さまざまな楽器に触れ、リズムに合わせて楽器を鳴らす楽しさを味わいながら、豊かな感性や表現力を伸ばしていきます。また、合奏を行い、友だちと音を合わせる経験を通して協調性を育んでいきたいです。



年長組

心はひとつ!やる気あふれる年長組!

幼稚園で1番大きいクラスになり、やる気にあふれている子どもたち。小さい子のお世話や友だちとのふれあいを通して、相手の気持ちを考え、思いやりや感謝の気持ちを育てていきます。また、自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友だちの意見に耳を傾けたりしながら、共に考える力を育てることを目的に、『こども会議』にも取り組みます。日々の活動や行事について話し合う機会を設け、一人ひとりの思いを大切にしながら、友だちと協力してよりよい環境づくりにつなげていきたいです。さらに、和太鼓やリレー、組立体操など、これまで憧れてきた年長ならではのさまざまな活動にも挑戦します。枝豆の栽培にも取り組み、観察画を通して植物の成長や変化に目を向け、自分なりに気付いたことを表現しながら、自然への興味や関心を深めていきます。初めてのことや苦手なことにも自ら挑戦しようとする気持ちを育てながら、見通しを持って計画的に取り組む力を養っていきます。



EVENT [1年間の行事]



誕生会



わくわくサマーチャレンジ



運動会



遠足



発表会



クッキング



もちつき



豆まき



卒園式

財務の概要（令和7年度決算の概要）

学校法人愛知産業大学の令和7年度決算の概要をお知らせいたします。

本学園の設置する学校は、愛知産業大学・愛知産業大学短期大学・ELICビジネス&公務員専門学校・三河歯科衛生専門学校・名古屋美容専門学校・名古屋たちばな高等学校・愛知産業大学三河高等学校・島田幼稚園の8校であります。学校法人は文部省令（第18号）により「学校法人会計基準」にしたがって会計処理を行っております。本学園は、同基準に定められている「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」をお知らせすることにより、本学園における財政状態をより正確にご理解いただき、皆様のご支援をお願い申し上げます。

資金収支計算書 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容に当該会計年度における支払資金（現金預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

（単位　　円）			
収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,558,448,000	3,474,780,817	83,667,183
手数料収入	84,909,000	84,373,900	535,100
寄付金収入	22,670,000	22,609,653	60,347
補助金収入	1,904,218,000	1,923,574,147	△ 19,356,147
国庫補助金収入	259,815,000	266,267,877	△ 6,452,877
地方公共団体補助金収入	1,644,403,000	1,657,306,270	△ 12,903,270
資産売却収入	415,898,000	416,415,845	△ 517,845
付随事業・収益事業収入	47,425,000	47,192,014	232,986
受取利息・配当金収入	37,581,000	37,087,463	493,537
雑収入	358,173,000	366,447,603	△ 8,274,603
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	816,298,000	703,610,210	112,687,790
その他の収入	228,656,000	334,292,545	△ 105,636,545
資金収入調整勘定	△ 1,234,770,000	△ 1,238,733,569	3,963,569
前年度繰越支払資金	6,459,741,000	6,459,740,992	8
収入の部合計	12,699,247,000	12,631,391,620	67,855,380
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,615,707,000	3,586,913,264	28,793,736
教育研究経費支出	1,251,560,000	1,224,805,937	26,754,063
管理経費支出	419,643,000	395,415,162	24,227,838
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	201,322,000	185,031,099	16,290,901
設備関係支出	134,549,000	130,196,981	4,352,019
資産運用支出	605,983,000	606,084,680	△ 101,680
その他の支出	259,542,000	310,333,558	△ 50,791,558
〔予備費〕	(49,226,000)		
	774,000		774,000
資金支出調整勘定	△ 448,428,000	△ 489,758,865	41,330,865
翌年度繰越支払資金	6,658,595,000	6,682,369,804	△ 23,774,804
支出の部合計	12,699,247,000	12,631,391,620	67,855,380

事業活動収支計算書 令和7年4月1日から令和8年3月31日

事業活動収支計算書は、当該会計年度の活動に対する、事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡を明らかにするものです。

(単位 円)						
教育活動収入の部	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異	
		学生生徒等納付金	3,558,448,000	3,474,780,817	83,667,183	
		手数料	84,909,000	84,373,900	535,100	
		寄付金	1,618,000	3,677,092	△ 2,059,092	
		経常費等補助金	1,813,718,000	1,848,979,897	△ 35,261,897	
		国庫補助金	189,993,000	215,062,827	△ 25,069,827	
		地方公共団体補助金	1,623,725,000	1,633,917,070	△ 10,192,070	
		付随事業収入	47,705,000	47,804,181	△ 99,181	
		雑収入	356,596,000	364,420,015	△ 7,824,015	
		教育活動収入計	5,862,994,000	5,824,035,902	38,958,098	
	科目	予算	決算	差異		
	人件費	3,616,886,000	3,583,975,027	32,910,973		
	教育研究経費	2,059,151,000	2,027,405,942	31,745,058		
	管理経費	422,674,000	397,156,665	25,517,335		
徴収不能額等	4,221,000	3,627,012	593,988			
教育活動支出計	6,102,932,000	6,012,164,646	90,767,354			
教育活動収支差額	△ 239,938,000	△ 188,128,744	△ 51,809,256			
教育活動外収入の部	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異	
		受取利息・配当金	37,581,000	37,087,463	493,537	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	37,581,000	37,087,463	493,537	
		科目	予算	決算	差異	
		借入金等利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	
		教育活動外収支差額	37,581,000	37,087,463	493,537	
		経常収支差額	△ 202,357,000	△ 151,041,281	△ 51,315,719	
	特別収支	事業活動収支の部	科目	予算	決算	差異
			資産売却差額	6,798,000	7,314,407	△ 516,407
			その他の特別収入	125,126,000	115,875,105	9,250,895
			特別収入計	131,924,000	123,189,512	8,734,488
科目			予算	決算	差異	
資産処分差額			2,701,000	3,559,572	△ 858,572	
その他の特別支出			186,409,000	186,395,312	13,688	
特別支出計			189,110,000	189,954,884	△ 844,884	
特別収支差額			△ 57,186,000	△ 66,765,372	9,579,372	
〔予備費〕			(46,062,000)			
	3,938,000		3,938,000			
基本金組入前当年度収支差額	△ 263,481,000	△ 217,806,653	△ 45,674,347			
基本金組入額合計	△ 330,832,000	△ 184,628,614	△ 146,203,386			
当年度収支差額	△ 594,313,000	△ 402,435,267	△ 191,877,733			
前年度繰越収支差額	△ 7,725,262,000	△ 7,725,261,183	△ 817			
基本金取崩額	0	0	0			
翌年度繰越収支差額	△ 8,319,575,000	△ 8,127,696,450	△ 191,878,550			
(参考)						
事業活動収入計	6,032,499,000	5,984,312,877	48,186,123			
事業活動支出計	6,295,980,000	6,202,119,530	93,860,470			

貸借対照表 令和8年3月31日

貸借対照表は、当該会計年度末の財政状態（運用形態と調達源泉）を明らかにするものです。

（単位　　円）			
資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	31,872,280,217	32,671,419,427	△ 799,139,210
有形固定資産	26,390,766,477	26,885,170,375	△ 494,403,898
特定資産	3,258,372,108	3,251,283,428	7,088,680
その他の固定資産	2,223,141,632	2,534,965,624	△ 311,823,992
流動資産	7,633,802,742	6,657,881,735	975,921,007
資産の部合計	39,506,082,959	39,329,301,162	176,781,797
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,231,705,456	1,251,856,147	△ 20,150,691
流動負債	2,106,410,424	1,691,671,283	414,739,141
負債の部合計	3,338,115,880	2,943,527,430	394,588,450
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	44,295,663,529	44,111,034,915	184,628,614
第1号基本金	43,916,376,529	43,731,747,915	184,628,614
第2号基本金	2,287,000	2,287,000	0
第4号基本金	377,000,000	377,000,000	0
繰越収支差額	△ 8,127,696,450	△ 7,725,261,183	△ 402,435,267
純資産の部合計	36,167,967,079	36,385,773,732	△ 217,806,653
負債及び純資産の部合計	39,506,082,959	39,329,301,162	176,781,797

学校法人 愛知産業大学

令和8年度

役員・評議員・会計監査人名簿

令和8年6月4日 現在

	氏 名	就任年月日	重任年月日	役職等
理事長	小林 英三	H28.4.1	R7.5.29	日本証券金融株式会社特別顧問
理 事	西村 雅史	R8.4.1		愛知産業大学学長・愛知産業大学短期大学学長
	玉腰 憲樹	R8.4.1		愛知産業大学三河高等学校校長
	木藤 新吾	H26.4.1	R7.5.29	学校法人愛知産業大学法人事務局長
	杉山 奈生子	R7.5.29		愛知産業大学大学院造形学研究科デザイン学専攻長
	浅岡 勇夫	H26.4.1	R7.5.29	税理士
	森 文夫	H31.4.1	R7.5.29	クロスプラス株式会社相談役
監 事	青木 高弘	H26.4.1	R7.5.29	有限会社フルボデザイン代表取締役
	豊林 由美子	H30.6.1	R7.5.29	VIホールディング株式会社アカデミー事業部顧問
評議員	石橋 豊	R8.4.1		愛知産業大学副学長・経営学部長
	坂 美好	R4.4.1	R7.5.29	名古屋たちばな高等学校校長
	門井 由佳	R7.5.29		+AK代表クリエイティブディレクター／愛知産業大学卒業生
	浅野 陽治	R4.4.1	R7.5.29	株式会社丸の内フローラ代表取締役／ 東海工業高等学校(現名古屋たちばな高等学校)卒業生
	家田 安啓	R7.5.29		家田・木全法律事務所／弁護士
	寺澤 実	R7.5.29		公認会計士寺澤会計事務所／公認会計士
	上野 正彦	R7.5.29		岡崎信用金庫顧問・株式会社おかしん総研会長
	堀場 富志博	R7.5.29		元三井倉庫株式会社執行役員兼三井倉庫九州株式会社社長
会計 監査人	田中 友也	R8.6.4		高田・田中・斯波合同会計事務所／公認会計士
	高田 文浩	R8.6.4		高田・田中・斯波合同会計事務所／公認会計士

学校法人愛知産業大学の

学園奨学金のご案内

学校法人愛知産業大学は、卒業生の方の親族が本学園の設置する学校に入学される場合、奨学金を給付しています。
詳細は入学を希望される本学園各設置校にお問い合わせください。

※島田幼稚園は本奨学金の対象外です。

学校法人愛知産業大学が設置する学校(学園奨学金対象校)

愛知産業大学(通信教育部含む)、愛知産業大学短期大学、ELICビジネス&公務員専門学校、三河歯科衛生専門学校、名古屋美容専門学校、名古屋たちばな高等学校(通信制課程単位制含む)、愛知産業大学三河高等学校(通信制課程単位制含む)

1. 給付基準

- ①兄弟姉妹奨学金:入学時に兄弟姉妹が本学園の設置校に在籍している方
- ②親 族 奨 学 金:入学時に2親等以内の親族が本学園の設置校(過去に設置していた場合も含む)を卒業している方

2. 給付金額

		兄弟姉妹奨学金	親族奨学金
愛知産業大学	大学院	150,000円	75,000円
	造形学部、経営学部、情報学部*	200,000円	100,000円
	通信教育部	40,000円	20,000円
愛知産業大学短期大学		20,000円	10,000円
ELICビジネス&公務員専門学校		100,000円	50,000円
三河歯科衛生専門学校		100,000円	50,000円
名古屋美容専門学校		100,000円	50,000円
名古屋たちばな高等学校	全日制	200,000円	100,000円
	単位制	20,000円	10,000円
愛知産業大学三河高等学校	全日制	100,000円	50,000円
	単位制	20,000円	10,000円

※設置認可申請中



www.asu-g.jp/

学校法人

愛知産業大学 広報誌[コミュ]

発行元：学校法人 愛知産業大学
〒460-0016 名古屋市中区橘2-6-15
Tel.052-339-2781

監修・発行責任：学校法人愛知産業大学
2026年7月1日 Vol.24(8,400部)



ホームページ



Facebook



Instagram